男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6—871

廓清

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）
（大正十一年十二月十日印刷納本）（毎月

第十二卷第十二號

□内地を清めて外患を排すべし……廓清會長　島田三郎
□新聞の廓清……一條忠衞
□貞操の意義……番町教會牧師　額賀鹿之助
□倫理教の運動……早大教授　内ケ崎作三郎
□刻下の思潮……帝大教授文學博士　田中義能
□上代の女……第一高等女學校長　市川源三
□十七年目に米國に來りて……林歌子
□情死と其の救濟研究……小林隆之助
□中國地方の公娼私娼……木藤冷劍
□徹底的自由廢業……辯護士　布施辰治

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

百科全書を兼ねた、縦にも横にも書ける

大正十二年

ライオン當用日記

▼內容の豊富と裝釘の善美とは類を絶す

▼特製の紙を使用したればペンの運び最も心地よし

定價九拾錢
送料拾貳錢

—內容の一部—

▲祝祭日の說明
▲色の感情
▲國の色
▲家庭常備薬
▲保健食料の標準
▲美爪術
▲寶石の種類
▲誕生石の說明
▲結婚記念式
▲結婚指環の意味
▲人生記念祝賀
▲洋紙と名刺の使ひ方

▲食事並に和食の心得
▲相撲四十八手の解
▲芝居言葉
▲天文地文
▲新しい言葉
▲建築用語
▲諺の解
▲花言葉
▲世界の國花
▲月の花
▲藥草と其利用
▲[illegible]草木及び其扱ひ方

▲香のたのしみ
▲高山植物
▲毒茸と其見別方
▲趣味の寫眞
▲猛鳥獸の名稱及ひ略則
▲時計にて方角を知る法
▲七曜の由來
▲東西月名の由來
▲外國聖日
▲ノベル賞受領者
▲元素と其發見者
▲法律語の解

ライオン齒磨本舗廣告部
東京本所外手町六番地
振替東京四八三五五番

清廓
THE PURITY

第十二巻
第十二號

内地を清めて外患を排すべし

島田三郎

歐米人を呼んで利己主義の人と云ふ。もとより現代の文明の程度に於て利己的なるものは多くある。併し東洋人に比ぶれば利己的ならぬ人も少なからず見受ける。我が日本はこの點に於いて顧みる必要があると想ふ。我れかく稱ふれば自稱愛國者は奮然として、憤り咄此歐米崇拜擁の輩と云うであらう、自屈卑陋の徒と嘲けるであらう。予はこの嘲りを解かん爲め左の事實を擧げんとするものである。葡萄牙、イスパニヤの民族が領土を擴げ殖民を策した時代に、到る處に奴隷の惡風を持ち來したがこれ等の殖民政策は結局皆失敗をした。近代の殖民政策は少なくも此の點に於て一變した。殖民に成功した英國民族はこの一例である。奴隷廢止の聲を始めて揚げたのは英國の義人の叫びだ。彼等が本國に揚げた奴隷廢止の聲は世界に反響するに到り、直ちにその實行を企畫したのは英國の植民地である。英人が足跡の印する處各地皆奴隷の跡を見ぬやうになつた。その波動が諸國に及んで國際的に奴隷を廢止する事となつた。終に奴隷買賣の船を海賊と認むるやうになり、近時に到りてはその氣風を推し擴めて、少女誘拐の惡風を國際的に禁ずる傾向となつて、之が國際連盟中の一要件となり。列國相盟つて婦人の貞操的奴隷を禁止せんとする凛たる威風を示して居る。

この問題に關しては我が日本は大に慚愧せねばならぬ。日本民族の到

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る處、その先鋒たり、後援たるものは隊伍を組んで派遣せらるゝ醜業婦の團體である。無智の少女を誘拐し、船底に潛ましめて、奴隷的婦女の賣買をなして而も賣淫を强制する。無智の婦女も自ら進み知らず〳〵欺かれて捕虜となるものもある。南洋、印度洋、マレイ半島、支那海はさらなり、日本民族の團結ある處、滿洲シベリヤの野も彼等に侵略せらるゝ如く赤軍と相接し跳梁する、これは抑も何事を語るか。日本民族の足跡の印する處淫賣の氣風を宣揚するこの卑しむべき女軍は、人間界の何物たるを解せず、自ら進んで奴隷の惡風を甘受するものである。何人がこれを媒介するか、日本男子である。これを內地より外出せしめんとする時、警官は目を張りて之を抑止するも多年の間徒爾に歸して居る。依然として當局の目をかすめて奴隷の慣習を傳へて居る。これ西歐人が奴隷を禁止し、宗敎を擯むるの態度に比べて日本人は反省すべき事である。予は暫らく歐米又は日本の何れの國にも屬せず中間の無所屬人となりて比較するに、西歐民族の世界に擴がる事實に不同意を稱ふる能はず、自稱愛國者はこの點に關して何と云ふか。予は人間としてこの罪惡に反對するものである。予は日本人として日本を攻擊せんとするものではない。日本人をして幸福を受けしめんとするのである。かく望むの故を以つて痛切にこの惡風の除去せられん事を望むものである。

明治六年の事であるが、南米ペリユーの奴隷船が支那から人足を本國に連れ歸りて耕作的農奴とせんと企た。その船が日本海を通航する時暴風に出逢ひ、難を逃れて橫濱の港に逃げ込んだ。購れたる奴隷は船中虐待の痛苦に堪へず海に飛び込み碇泊せる英船へ游ぎ着いた。英人はこれを日本政府に引き渡して、奴隷は萬國公法の禁ずる處である。日本の領內にて起れる問題なれば適當の保護を與へられよと勸說した。その時の外務卿副島種臣君はこれを正義に斷じて購はれたる支那人を斷然と解放した。眞に立派なる所置であつた。然るにペリユー國の政府は抗議して裁判沙汰となつた。その仲裁を露國皇帝に委したが結局日本の勝利となつて落着した。この裁判の間神奈川縣廳に臨時の法廷を開いて（當時は行政司法の區別がなく、行政官が判事を兼任した時である）双方外國の辯護士を雇ひ入れて辯論をしたが其辨論中に、ペリユー政府の代人辯護士英人某が云うた奴隷は萬國公法の禁ずる處なるは承知する。併し日本政府は奴隷を非難する資格を缺いて居る。その理由は日本は自國の中に奴隷制度を行つて居るからである。かの遊女を蓄へて居る遊廓を見よ婦女を賣買して賣淫を强行せしめて平然として居るではないかと云うた。この一言が烈しく日本の政治家の心底を動かし義に勇める副島外相も果斷なる江藤法相（新平）も維新當初の純正勇決なる、果斷敏捷なる精神が髣髴として居たから、他を責むると同時に自ら改むるに吝かならなかつた。廟議直ちに決して遊女の解放を斷行した。

金錢を以つて婦女を束縛し、その節操を强ふる事を禁じ從來賣買の約束を無效とし人の自由を束縛するは牛馬に對すると同樣である。牛馬の待遇せらるゝ少女は賠償する義務がない。人類は牛馬より償を取ると云ふ理由はない。と云ふ奇想天外の命令を發して全國の女郞を一時に自由にした。彼等が

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

勝手に自由に身を男子に任す事は別段だと云ふので、女郎の名が娼妓となり遊女屋が貸座敷となつたのはこの時からである。これは今を去る五十年前の出來事であるが。今は上にかくの如き義に勇むの官吏なく風俗も漸々として進まない、娼妓もとより奴隷で貸座敷は事實上遊女屋である。この他に表看板は藝を賣ると稱する藝奴酌婦の數は年々增加する。これ等の賣婬は公然の秘密である。この事が延いて教育費の補足を得んと遊廓を設立せんとする者あり、藝妓地區の特許を得て地方費を增加せんとする者あり、貸座敷の外に待合の增設を請願するあり。淫風吹き荒むで滔々として止まる處を知らない。

内にこの不潔物の養成あり、廟堂の有志も待合に接近して酒肉の間に政治の密議を凝らす陋風あり、これを讃美して謳歌する操觚者あり、これを美化せんとする藝術家あり、いかんぞ漏れて外に發せざらんや。都會かくの如し、文化の低き田舍に於いては都會の娼妓の送金を仰いで身を濕ほさんとする父兄あるもあやしむに足りない。地方に於て婦女を外國に輸出する有名なる地は肥前の天草である。各地方の外出の婦女を統計によつて調べたら甚だ多い事であらう。政府は警察の力を以てこれを防がんとして居るが、内部を清めずその本を潔めずして、末にのみ走るは徒爾ではないか。再び云ふ我は日本國民の榮譽の爲めに我民族の膨脹の爲めに又各地にありて同胞が幸福の生を營まん事と、繁榮せん事とを冀ふ。これを冀ふ切なる故に到る所に惡風を傳播せざらん事を望むのである。斯くの如くして節操ある民族ならんことを祈り、我が民族の良風が萬國に擴がる事を祈るものである。

自ら清め自ら正うして良風を擴め正義を愛する民族として始めて我民族が外方に歡迎せらるべきである「言忠信に行篤敬ならば蠻貊の邦と雖行はれん言忠信ならず行篤敬ならざれば州里と雖も行はれんや」と孔子は言はれた眞に此辭の通りである。

日本人が異邦に歡迎せらるゝやうになりて然る後に民族の膨張を望むべきである。歡迎せられんとせば先づ風俗を淳厚ならしむるのが要件である。然らずんば我等の望みは徒爲に歸する。予はこの故を以て我が國遊廓の廢絶を希望するものである。

放鳥の由來

葬式などの時よく放鳥するのを見受ける。恐らく起源も知らずにやつて居るのであらう。これは古代基督教徒が奴隷解放の運動をした時からその起源が發して居るので、國家及び個人の感謝祭、病氣平癒、出產、死亡、及び遺言等の場合には奴隷を持てるものはこれを解放する事になつて居た。然るに佛蘭西には十三世紀となつては解放すべき奴隷がなかつたので、教會は宗教上の祭典に鳩を放ちて往時の善事を紀念したのに發して居る。則ち奴隷を所持して居ぬが故に鳩を解放したのである。これを以つて見れば葬式の時に放鳥する習慣を持つて居る日本國民は定めし奴隷を所持せぬ國民らしく見受けられる。然るに事實はさうでない。無理に鳥まで探して奴隷解放の眞似事をせずとも、目前に同胞が奴隷となつて群衆の前に晒物になつて居る。法律までがそれを許して居る。もしも國民的罪惡と云ふ言葉を適用する事が出來れば、奴隷を公許、或は默許する法律の存在がそれに該當するであらう。死んだ形式に走る國民は亡國的素質の所有者である。これには必ずしも放鳥丈けの問題ではない内觀的に實質的に進んで行かない個人及び民族は實に危險なるものである。私は放鳥する人に向つて一言聞きたい。諸君は眞に奴隷を所持せざるや否と、（村上生）

新聞の廓清

一條忠衛

一　新聞經營の改善

論語には『天下の道なきや久し。天將に夫子を以て木鐸と爲さんとす。』と書かれて居る。これは亂臣賊子が天下に横行して、國家は小人によつて支配されて毒害並び至つた時に、天は孔子を生んで社會廓清の警鐘たらしめたことを言つたものである。木鐸とは木舌の大鈴であつて、昔し文教を宣傳する時にそれを振つて人民に警告したものである。吾々は幼年の頃から新聞は社會の木鐸であると云ふことを屢々聞いて居る。これは何ういふ意味であるかと云ふに、新聞は現實の穢惡な社會に對して文教の目的から試みられる警鐘であると云ふ意味に解して來たのである。ところが吾々は又一方に於てはこれに對して反對の意見をも聞いて居る。その說に依れば、新聞が社會の木鐸であると云つたのは明治初年の思想で、新聞のまだ發達しない時代の考に過ぎないと云ふのである。進步した今日の新聞はその現實の社會に行はれて居る有りの儘の出來事を寫眞に撮つて讀者に報道するものであつて、是非善惡の批評は總て讀者に一任して居るのであると解して居る。卽ち新聞は社會の耳目であつて、蓄音機や寫眞に異ならぬものだと見るのである。けれども現實社會には光明的方面もあれば、暗黑的方面もあり、理想に合した點もあれば、これに反した非理想の部分もある。悉くこれ等を種板に吹き込んだり、撮影したりすることの出來るものとは限らないのである。從つて國家的にこれを見る時には、新聞紙法の範圍内に於て。そこに色々な制限を設けられるのである。猥に朝憲を紊亂する記事を掲げることも、風敎を破壞する廣告を載せることも出來ないのである。

さうして見れば新聞は必ずしも現實社會の蓄音機でもなければ、寫眞でもない。そこには吹き込むことも撮影することも許されぬ部分がある。社會の耳目であると云ふのは、單に物質的に機械的な生理上の耳目を指して云つたものでは無い。目には惡色を見ず、耳には淫聲を聞かぬと云ふ精神的な耳目である。然るに斯樣な精神的の耳目はその社會の爲めには木鐸でないかと云ふに、それは確に木鐸である。春秋戰國の時代に於て孔子の述作が社會の木鐸であつたやうに、現代の新聞も亦た實現の不完全な社會に對しては、將に人民を啓發する木鐸でなければならぬ性質がある。社會の現實をその紙面に吹き込むにしても撮影するにしても、社會の耳目となり木鐸となる理想に立脚したもので無ければならない。社說を掲げて覺束ない是非善惡の批評などを爲さなくても、新聞

の事業そのものゝ根本的精神に於て、破邪顯正の批判者となり、公平なる審判者とならなければならぬ。

此意味に於て新聞は啻に一人の機關ではなくて、實に天下萬民の機關であることを忘れてはならない。卽ち社會が社會の理想に從つて、社會を指導して行く言論の機關なるものが新聞である。そこで新聞は一部の社會の利益を擁護する爲めに他の一部の社會を壓迫する機關として設けられたり、或る權威に阿附して自己の利益を計謀したりする樣になつてはいけない。又た縱令講讀者に摺り物を賣り付ける營利事業であるとしても、又た一面に於てはこれに由つて社會に裨益する公益事業であるからして、俗惡な商賣に墮落して金儲け仕事になつてはいけない。尤も新聞は慈善事業ではないから損をしてまで經營する譯には行かないけれども、暴利を貪つて經營者の懐を肥すやうな穢い遣り方は避けなければならない。正義を行つて自然の間に富むは結構であるが、不義を行ひ悖德を續けながら不自然の間に富まば萬人これを憎まぬ者はない。殊に社會の耳目として木鐸として言論の公共機關たる新聞が不正不義の働をしてその社會の隆昌を祈るに至つては見苦しいこと甚だしいものである、

現代新聞の經營を見るに、實に如何がはしいものが多數を占めて居る。何うしたならば金が儲かるか、何うしたならば獨り我が社運が發展するかを先づ念頭に置いて掛つて居る。何うしたならば社會の耳目なる特色を發揮するか、何うしたならば社會の木鐸たる性質を明にすることが出來るかを念頭に置くものとは異つて居る。從つて新聞は現實社會の蓄音機となり寫眞となつて、有りの儘の反影に外ならぬものになつて了つたのである。ところで現代新聞の殆ど總ての經營は現實に媚び世俗に迎合して、その間に何等の理想も光明も見出すことが出來なくなつて了つたのである。各新聞社は單に金を多く得んが爲めに顧客を釣る手段に沒頭して、一も二もなく讀者を殖すことを以て能として居る。その爲めには皇室までも利用して新聞政策に供して居る者すらある。尤も讀者を殖さなければ金が出來ないし、金が出なければ理想や光明の方面を開拓することも出來ないと感じてのことであらうが、事實はその反對で讀者を殖すことに腐心して居ればそれに伴れて理想や光明の方面には次第に遠かつて行くので、程度の低い俗惡な世界に向つて發展して行かなければならぬ矛盾撞着に陷るのである。こゝが現代新聞に於ける經營の至極困難な點であらうが、そこが又た廓淸を要する點である。

昨今の新聞事業を見るに、何れも社運の繁昌を看板にして居る。新聞社は競つて新築を披露して、設備の整頓したことを互に誇り合つて居る。高速度輪轉機を据ゑ付けて僅少の時間で數十萬枚を摺り上げることを鼻高々と廣告して居る。色々な展覽會を社の樓上に設けて、朝野の名士や貴婦人を招待して己が新聞社の盛大なる所以を說明する。又た朝野の名士や貴婦人もぞろ／＼と參觀に出掛けてお說御尤で、お世辭を振り撒いて將來新聞社から惡口などを敲かれない豫防策として、貴社萬歲を祝して居る。その爲めに新聞社は毎日お祭り騒ぎで目出度し／＼のお祝儀物で紙面を滿載して居るので、肝腎な新聞の本職の方は何時の間にか忘れられて居る。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

何故に目出度いのやら、何故に萬歳なのやら、吾々には解らないのみならず、大に疑はずに居れない。新館を落成したことや高速度輪轉機を備ひ付けたことが、社會の木鐸たる新聞の上に如何ほどの效能を有するものであるかは、大に怪まずには居れない。時間の經濟を圖ることは極めて良い考であるとしても、その結果として部數を多く刷つて顧客を殖すことは、少しも褒めた手柄ではない。理想や光明に遠かる低級な俗惡な社會が如何に厳然たる事實であるとしても、さうした方面に向つて新聞が發展して讀者を殖すために紙面を用ゐることは金になるかも知れないが、社會の木鐸たる所以の本義から推して見る時には、何處にも貴社萬歳を祝すべき理由が見出せないのみならず、却つてこれを惜む吊詞を呈するのが相當して居る。現代新聞の經營には理想がない。そこには社會の耳目となり木鐸となる所以の態度が明に出て居ない。總てが俗惡な粧飾によつて厭な空氣に包まれて居る。吾々廓清の徒は早くその當路者がこれを自覺して、その蒙を啓かんことを期待する者である。

二　編輯の改善

斯樣に現代新聞の經營が既に過つて居るのであるから、編輯の過つて居るのは自然の結果である。先づ今日の新聞を見るに現代社會の凡らゆる方面を肯定してその基礎の上に編輯を試みて居る。一般社會生活の缺陷をも生きたる現實としてこれを採り入れて居る。その爲めに編輯欄は極めて多岐に亙つて居る。政治欄、經濟欄、社會欄は申すに及ばず、文藝、婦人、兒童、講談、演藝、科學、娛樂、運動、花柳等の諸欄に及んで數へ切れぬほど多方面に亙つて居る。卽ち社會の全局を一枚の新聞に縮圖して、社會のあらゆる階級の人に讀ませ、老弱男女に引つ張り廻はさせて見せようとして居る。大臣にも百姓にも、學者にも無學者にも、宗教家にも藝娼妓にも、老人にも小兒にも、同一の新聞で事足るやうに編輯しようとして居る。然るにこれは果して正當な試であるか何うかと云ふに、非常に無理な注文である。一方には都合のよい讀物であつても、一方には都合の惡い讀物である。從つて一枚の新聞を多人數で引つ張り合つて讀んだとしても、各自が眞に讀んで利益を受ける點は極めて僅少な部分に過ぎない。社會の如何なる人間にも關係する事柄を少しづゝ揭載して置けば、讀者を吸收するには巧な好餌であるかも知れない、一欄や二欄の記事を讀む爲めに七八面の新聞を購求せねばならぬ不經濟の奇現象を呈するのである。それが爲めに新聞の內容がます／＼淺くなつて深みがなくなると同時に、橫に擴がつて非常にがさ張つて薄つぺらなものになるのである。これを隅から隅まで毎朝讀んで居ても、何等纏つた知識を得ることが出來ないのみならず、混濁せる社會の雜件に就いて吾々を輕薄な物知りにさせるに過ぎないのである。これは現代新聞の齎らす弊害である。それで新聞はこの現代の八百屋式のものから專門的のものに向上しなければならない。政治や經濟を專門とするものと、學藝や教育を專門とするものと、學生や兒童を專門とするものとは獨立して分業にならなければならない。そして欄もあまり多岐多端に亙らぬやうに、無用のも

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

のは省いて、有用なものを追加しなければならない。今日の社會には同じ編輯振りの新聞が澤山あつて競爭して居るから宜しくない。さう云ふ無用な骨折は一切避けて各自に分業して自由の天地を開拓して、獨特の編輯振りを試むべきである。さうすれば範圍が狹くて內容の深い記事の整頓した新聞が出來上るので、殆ど獨占の姿になるからして讀者の奪ひ合も止んで、經營も手輕になるのである。

今日の新聞のやうに雜然とした浮薄な知識を每日讀まされては堪つたものでは無い。常識を養ふに必要だと云ふ者もあるが、それは誤つて居る。現代の吾々は無用の知識を以て常識と心得る者ではない。寸陰を惜んで各自の目的とする所に向つて、夜を日に繼いで努力してその完成を企圖しなければならぬのであるから、自己の精出す能率の上に邪魔になるやうな縁遠い愚劣な事柄に精神を傾けて居るのは甚だしく不經濟である。吾々は今日の新聞から非常に不經濟で淺薄な知識を與へられて居る。或時には全く害惡の知識に觸れて、自己に忠實な專門的目的や業務を混亂させることとすらする。吾々の希ふところは、每朝各自の專門的目的や業務の門出に際して、その一日を祝福する爲めに何人にも共通に勇ましい歡喜に滿てる有益な精神的內容を鼓舞激勵する新聞を與へられんことである。然るに現代の新聞はこの點に於て全く失敗して居る。吾々が專門的目的や業務の門出に際して、早朝から既に一枚の新聞によつて疲れた悽慘な空氣に滿たされたる暗黑的內容を供せられ、その勇氣の鋒先を鈍らすことがあるばかりで無く、怠惰や失望や自棄に導かれることとすらあるのである。これは全く現代の新聞がその編輯が亂雜で浮薄で貧弱で無知であるが爲めに、莊重な氣分がなく深遠な感じがなく、感謝に値する何ものも見出し得ない結果である。人間に譬へるならば、現代の新聞は輕薄才子であつて、大人物の風格がないのである。そこからは惡く狹く小賢しい奸智を陷へられるたけて、一世を敎導する智德を與へられることが無いのである。これは實に現代新聞に於ける編輯の最大缺陷である。

それから新聞は社會の言論機關であるから、これを公開的に編輯しなければならぬことである。或る階級や黨派や最負の爲めに不公平な編輯をしたり、或る者を一人舞臺で意張らせたり、或る者の提灯を持つてこれを捻いて有りもしない名譽の花を持たせたり、買收政策に應じて虛報や針小棒大の解說を加へた記事を編輯することは、一切避けなければならぬことである。殊に新聞が黃金によつて買收されて、金權の奴隸となつて天下の言論機關を一部の社會に壟斷させるやうになつては、實に社會の木鐸をして墮落のどん底に陷らしたものである。これは編輯上の非常な罪惡であつて、人に僞善を勸めて惡を助長させると共に、他の一方を慘害してこれを社會的に殺すものである。その不德たるや最も憎むべきである。然るに現在の新聞は陰でこれを行つて居るのであるから、實に脾肉の歎に堪へぬ次第である。

次に近年に至つて新聞で學術的事項を取扱ふことが大に一般の流行になつて來たが、これは非常に好いことである。殊に哲學や倫理學や科學上の思想が一般の社會に歡迎されるやうになつて來たのは、頗る悅ばしい傾向である。これは學問

の價値と效用とが次第に一般社會に會得されて來た證據である。單に過去のやうに曖昧な漠然たる記事で胡麻化されては居ないので、眞個の學術的知見によつて自然人文の現象を究明しようとする風潮になつて來たのである。それでこの傾向を普遍的に通俗化すには新聞を措いて他に求められない。新聞はこの傾向を善導して、この發達しかけた民衆の學術的精神を培養して、不斷に新しい興味を與へて永續させることを企圖しなければならない。それには誤報を避けなければばらない。無學な記者に出任の記事を書かせてはいけない。それ相應な專門の記者に書かせたり、又は學者の意見を紙上に掲載して、その言はんとする所を自由に言はせることが大切である。

それから社會の進歩するに從つて出版物が多くなり、新刊書籍は雨後の筍のやうに續出するので、一般社會の民衆に取つては取捨選擇に迷ふのである。この時に當つて最も權威ある紹介と批評とを加へて、之を指導する者は實に新聞でなければならない。從來の新刊紹介なるものは極めて申譯的なもので影の薄いものであつた。それで今後はこれを改善して相當の成績を擧げることに努めなければならない。それには新聞社は刊行物を各專門家に托して、嚴正批判して貰ふ必要がある。今日のやうに書籍が濫造されて居る時代には、下らぬ本が幅をきかして、價値のある本が世に埋れて居ることがある。殊に出版業者の巧妙な廣告手段に載せられて、不眞面目なやくざ物が飛び切りの流行物となつて世間を騷がし、實名を擅にして、反つて忠實な著作者が不遇に終ることがあるから、斯樣な不公平の事柄がないやうに新聞がその木鐸となつて審判して遣る必要がある。殊に日本人は民族的に感情に走る雷同性があつて、論理的な科學的な獨創的な知識判斷に乏しいから、これを新聞で指導し是正して遣ることは非常に意義のことである。

三　記事選擇の改善

現代新聞の編輯が既に劣つて居るのであるから、記事の選擇が不見識で愚劣なことは最も著しいのである。一體、新聞の特色は殆ど記事にあるので、記事の選擇によつてその新聞の値打が發揮されるのであるから、これが拙づかつたならば全く採りどころの無いものになる。今日の新聞を見て第一感ずるのは、記事の俗惡なことであり、下品なことである。先づ政治欄を見るに、現代の謂ゆる政治家共が有られもない惡口雜言を吐いて、政敵を中傷して居る記事が麗々と揚げられて居る。不俱戴天の仇のやうに政黨者流の談話が載せられて、罵詈讒謗の毒舌を振つたものを更に持て囃して裏書した記事が刷り込まれて居る。此等は縱令その政治家が直接に不眞面目な言論を弄したとしても、記者はこれを文筆に綴る時には修正して禮儀を失せぬやうに改定しなければならぬものである。それから政治記事も亂暴狼籍のものが多い。有象無象の議員が實際に於てさうした亂暴狼籍な言動を敢て試みたとしても、それを眞正直に承けて大閤記や三國誌を讀む時のやうな面白半分のものに脚色して社會に發表するならば、それは不見識の甚だしものである。議員が神聖なる議場を雲助や

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

護謨の灰の亂闘場見たやうなものに化することがあつても、新聞はこれを彌次り立てたり皮肉つたり素破拔いたりして滑稽化すのは、不眞面目の甚だしいものである。斯様な場合には新聞ではこれを不問に附すか、相當の筆誅を加ふべきてある。現代の新聞は政界の墮落をそのまゝに種板に吹き込んだり撮影したりするのみならず、反つてこれに駄洒落の文句を入れてやんやと噺し立てゝ政治的價値を一層下落させるだけて、嚴然たる社會の耳目となり木鐸となつてこの腐敗せる政界の局面を轉換させるの態度がないのである。

隨つて社會記事を見るに同一の筆法で取扱はれて居る。社會の凡らゆる事件を蓄音機や寫眞のやうな仕掛で吸ひ取らうとするのであるから、拙つたもので無いのである。殊に新聞と言へば人に耳新しい事件を報告する義務になつて居るから、人間の官能に棘戟を與へて少し驚かすやうな事件を漁る癖に陥るのである。それも光明的方面に向つて事件を漁つて世を驚かすことは非常に結構なことだが一寸六敷い爲めに、手つ取り早い暗黒的方面に向つて驅け出すので、網を打つて漁つたものは實に小鮮に過ぎないのであるが、これを恰も大魚の波間に跳り出たやうに吹聽するのである。殺人、強盗、爭闘、欺詐、姦通、強姦、淫賣、發狂、不良少年少女、官紀紊亂など凡らゆる罪惡記事を詳しく書き立てゝ、犯罪の目的や方法を手に取るやうに書き列べるのである。これは教育ある識者から見れば殆ど何の意味であるか解するに苦しむのである。まさか罪惡を奬勵して居るのでも無いが、罪惡の經路を斯んなに鮮明に書き立てゝ人に聞かせようとするのは、全く道德的意識のまだ發達しない野蠻人の好奇心に濫觴した惡習である。人生は理想に向つて至善を逈つて進むのであるから、暗黒に向つて罪惡を穿鑿する必要は少しもないのである。絶えず至善に向つて進めば罪惡に對して遠ざかるのであるが、至善に向つて進むことを奬勵せずに單に罪惡に向つて穿鑿することを奬勵するやうになつては、人をして殊更に罪惡に近づけるやうな結果になるのである。素より意志の堅固な修養の積んだ者であるならば近づいてもそれに由つて害される憂がないが、さうでない限りの者は殆ど大抵その害毒に感染して知らず／＼の間にその罪惡に落ち込むのである。

先づ古人のやうに朝起きて盥漱梳粧してから、聖賢の書でも讀んで浩然の氣を養ふのであるならば、大に生命の活力を増進することになるのであるが、現代人は昨日の疲勞も忘れて漸く氣持のよい朝になれば、まだ寢床の中に居ながら新聞を取り寄せて俗惡な暗黒記事を讀んで、その官能を甚だ害して混濁せる世界に這入り込んで居るのである。東天と與に自然を讚美するのでは無くて、殺人、姦通、賣淫、發狂等凡らゆる不合理の記事を讀んで喚々たる觀念に壓せられて了ふのである。これは各人に對してその目的や業務の能率を害し、その精神の健康を害し、修養を鈍らすこと最も明かである、これは現代の新聞に於ける病的現象であるから、一刻も早く廓清しなければならぬ點である。ヘンリイ・ライクロフトがその手記の中に『自分は朝の新鮮な心を世の中の愚行や邪行の騷々しさに穢すことを欲しない。だから決して朝の間は新聞を手にしない。』と云ふ意味のことを書いて居るのは。不完

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

全な現代新聞の發行されて居る間は眞理として奉ずべき名言である。

世間には一種の誤解者がある。新聞を隅から隅まで有難い書籍として崇拜して居る者がある。これは宗教的に見れば萬有崇拜者である。善も惡も無差別に有難がり、人も狐も牛も馬も神として崇拜するの徒に類するものである。勿論現實の世界には愚行も邪行も嚴然たる事實に相違がない。賢明な行爲や善行と同列にこの世の中に存在する事柄である。けれども人生の理想は至善であるので、價値は愚行や邪行には無いのである。人間の人格活動は價値ある生活に向つて進むのであるから、愚行や邪行などを見聞する時間や能力を費して居るやうな暢氣な生活をして居れないのである。そして愚行や邪行は取り調べなくとも、常に至善に向つて精勵して居ればその人格は完成されるのである。それで德育に於ては光明に向つて一途に進めばよいので、暗黑を顧みて道草を食つて居る必要がないのである。寧ろ暗黑は嫌つて憎んで、これを回避して只管光明を欣求することが人生の理想的生活の本體である。然るにこの人生の德育の原理を辨へぬ連中は、動もすれば光明の勇者に向つて暗黑を回避することを卑怯の行爲に解する者である。併しこれは善惡の意義を知らぬことから來た誤解である。惡を懼れて善に進むのであるから、卑怯ではなく極めて勇敢な行爲である。惡には眼を吳れずに、只だ善に向つて一轍に進むことは、實に人生の理想的大勇である。若し暗黑に接してこれを直視し洞察し熟慮することに勇ましいとすれば、それは一種の物好きであつて匹夫の勇である。『君子は危きに近よらず』と云ふ語がある通りに、惡を直視し洞察し熟慮する時間があるあらば、寧ろ善に就いて左樣な行動に出づることが人間の義務である。惡を研究して何かの利益にしようとするには、善を研究した結果を根本原理とした上でなければならない。若し善に關する根本原理の觀念がなく頭から惡を研究した日には、そこには何等の價値的效果も得られず、單に惡に關する知識を物好に道樂に掃き集めた塵溜を作るに過ぎない。然るにこれは危險甚がしい生活である。光明に關する無學無知の徒が暗黑に關する研究三昧に從事した結果は、知らず〳〵の間に惡の世界に引き摺られて行つて、光明に遠かることは必然の成行である。それで德育には惡の講義が無いのである。修身教科書には善の講義ばかりで、人殺や强盜や淫賣や詐欺の目的方法に關する說明はないのである。けれども無いからと云つて修身教科書を卑怯な書き振りだと罵る者があつたならば、それはまだ德育の何たるかを辨へぬ愚人の囈語である。新聞は社會の木鐸たる以上は明に德育の機關であり、修身教科書でなければならない。新聞の記事が惡の研究を滿載して不德の塵溜となり、善の何たるかに就いては何事も報告して居ないやうになつては、世道人心を過ることと是より大なるものは無いのである。

それから現代の新聞記事を辯護する者に非常に不識な考を懷いて居る者がある。その論者は現代の社會には現代の新聞があると稱し、現代の新聞は現代社會を肯定した基礎の上に立つた反影であると主張して居る。そして現代社會を動物的なものに考へ、人間性はこの動物性にあると說き、非哲學的な

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

非科學的な非藝術的な一般社會の生活を是認して、目的論的な理想を嫌ふのである。これは唯物史觀的現實主義の崇拜論で何の價値もない愚論であるが、この愚論に迷はされて現代の新聞記事を如何にも有難がつて居る講讀者が尠ないから、吾々はその誤解をこゝに匡さなければならない。

論者が人間性が動物性に立脚することを揚言するのは別に惡くはない。併し人間性は動物性の外に人格性を有つて居る。人間は人格のある動物であつて、禽獸のやうな無自覺的な生活者ではない。動物の生活には理想と云ふ目的がないが、人間としての動物には人間の人間たる所以の人格的目的がある。それで現代の一般社會が如何に動物的であつて、哲學がなく科學がなく藝術がなくとも、これを善い事だと是認して生活して居る者ではなくて、絶えずその蒙を啓いて向上の一路に邁進する者である。この意味に於て、新聞記事は一も二もなく現代社會の奴隷となつてその光景を撮影して居る活動寫眞ではなくて、常に不斷の努力を以てその不明なる現代生活を誘掖扶導する木鐸となるもので無ければならない。文化の低い社會はその高い社會に向つて進化するのが社會發達の現象である以上は、新聞記事は高級な見地から低級な社會を指導して行く抱負がなければならない。然るに現代新聞の大半は謂ゆる動物性を本尊に戴いてその發揮大成に盡力して居る觀がするのである。從つて紙面を眺めれば殺人、强盗、姦通、賣淫等凡らゆる動物性を展覽して、百鬼横行の姿を現ま[illegible]居る。而もこれを以て現實社會の正體を考へて怪せ　これを誇張して書き立てゝ尋常の茶飯事に思つて居る。

これは自然主義であつて理想主義の何たるかを知らぬ無知の考である。新聞は斯樣な無知の考へを基礎として記事を選擇して、理想の何たるかを知らずに居るやうでは、社會の耳目たる資格はなく、社會の盲目たる値打しかないものになる。現代新聞は實にこの盲目によつて光明を遮られて居る。暗中に模索して、不潔な物を摑んで互に食つて居るやうなものである。併し吾々は今や斯樣な無意識的動物的生活を醇化して、その自滅の運命より逃れ、人生の目的に向つて圓明淨なる光明を仰ぎ見る理想の生活に移らなければならない。それには先づ社會の木鐸なる新聞は衆に先んじて自覺するところが無ければならない。暗黑世界の不潔なる罪惡記事に沒頭して居る不見識から、自己の不明を解放しなければならない。吾々は特にこの點に關して現代新聞に向つて警告を發する者である。

四　廣告選擇の改善

現代の新聞は廣告料によつて維持されて居るといふことを、吾々は屢々聞かされて居る。それは洵に氣の毒な悲しむべきことである。寧ろ惡い傾向である。新聞が自ら己を墮落せた懲罰である。新聞の經營や編輯や記事選擇が既に過つて居るのであるから、無用の資出が多く、諸入費のかゝる事ばかり出て來るのは自然の結果であり、これを廣告料で埋めようと考へるやうになるのも自然の勢である。前述の如く現代の新聞が縦に深みがなくて、横にばかり擴がつて弛緩して了つて

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

居　國土ならば海岸線のない無限の平沙のやうなものて、不ヺ　土地に似て居る。そこに無暗に事業を經始して互に競爭を試みて居るやうなもので、資本ばかり要つて配當のない失敗せる殖拓事業のやうなものである。この意味に於て廣告料を當にして經營する現代新聞は根本からその方針を變革しなければならぬ狀況になつて居る。若しこの儘に打ち捨て丶置けば、そこには名狀すべからざる弊害を醸成するのみである。

吾々は今日の新聞を手にすると、その紙上に於て大小無數の廣告に接するのである。廣告が如何なる意義のものであるかは、こゝに述べずとも明かなことで、その定義や效能に關しては吾々は些も異議を挾む者ではない。現代の文化は或る點までは廣告術の發達によつて向上されて居る。廣告の效力を必要とは何人もこれを認めなければならない。吾々の社會的生活に於て眞に價値のある貢獻を提供するものに對して、その實益を人類社會に普及するものは實に廣告の賜である。廣告術の發達によつて吾々の人格的生活は色々保護されて行くのである。今斯樣な意義に基いて現代新聞に現はれた廣告を見るに、その本義に背反して居るものが夥しいのである。試に毎日の新聞に掲げられて居る廣告を見るに、如何なる要求から爲されて居るのであるか。吾々の社會的生活に於て、眞に價値のある貢獻を提供して居るものであるか何うかと云ふに、その殆ど大半はこの目的に反して居るものである。眞に價値あるものが左樣の價値あるものでないやうに廣告されたり、何の價値もない擬物が恰も大なる價値を有すやうに廣告されて居る。その事實の眞價を忠實に廣告するのでは無くて、無價値を有價値の如くに見せ掛けて、これを誇張し詐稱して、社會の信用と自己の名聲とを殊更に作り上げやうとする行爲に流れて居る。そして價値なき有名無實のものを、如何にして價値ある實有に見せ掛けたら良いかに就いて、苦心慘憺の跡を呈して居る。從つてその廣告は殆ど巧言令色となり、詐欺となり瞞着の手段を弄する悖德の奸策に陷るのである。

そして現代新聞に於ける廣告なるものは、料金によつて規定されて居る。料金を多く出せば人目に付き易い展覽の場面を提供され、料金が少なければ蟲鏡で探さなければ場所の解らぬやうな隅つこの方を提供されて居る。その上に料金の寡多に從つて活字の大小取り〳〵の段階がある。それ故少し料金さへ憤發すれば、何の値打も無いがらくた物でも愚劣極まる事柄でも、廣い場面に於て初號特號の大活字によつて恰も驚天動地の大眞理を有するもの丶やうに堂々と掲載されるのである。そこでこれを見る一般社會は毎日大きな廣告だけが眼に映つて小さな廣告は見落されて了ふのである。それ故廣告によつて社會の事物を知る場合には大廣告の刺戟に基くので、社會の評判は總て大廣告によつて支配される傾向になるのである。その結果として新聞紙面は廣告戰爭となるのであるが、これは新聞社に取つては願つたり適つたりで、勿怪の幸として開いた口に牡丹餅の恰好で喜ぶのである。そこで獨りほゝ笑む者は新聞社のみで、迷惑する者は金を深山出させられる賣名の詐欺師とそれに釣られて誑かされる一般社會の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

みになる。而も新聞社はしてたま儲けることが出るので、その味を忘れることが出來ず、不善積惡の廣告とは知り乍らも全紙面を提供しても惜まないのである、これは新聞が社會の木鐸なることを忘れて、惡德賣名の宣傳機關となつて世道人心を墮落させるものゝ隨一たるものである。新聞の墮落はその廣告面に於て最も明に證示されて居る。吾々は將に此の點に就いて徹底的に廓淸したいのである。

五　記者の改善

要するに新聞の廓淸はその經營の改善に始まり、編輯の改善に移り、記事や廣告の選擇に關する改善に入らなければならぬが。畢竟するにこれは人の問題である。第一に經營者その人の頭を改造しなければ何事も出來ぬが、當面の問題としてその社員たる記者の改善である。現代の新聞記者を見るに、その質が宜しくない。色々の職業に手を出して失敗した者や、無爲無能の輩が押し掛けて行く場所になつて居る觀がする。眞に新聞記者の本義を解し、それを自己の趣味と個性に合つた生涯の職業として、その使命を感じて勇んでその職に就いて居る者は極めて稀である。場合さへ良ければ何時でも足を洗つて轉職しようとする浮き腰の者が多い。隨つて新聞記者ほど新陳代謝の烈しいものは無く、出たり這入つたりして腰掛者ばかりない。その結果として物に飽き易い輕薄なるよこ才や、酒色に耽溺して人格の何たるを解せぬ者などが集まつて、與論の人物に拂底し居る。これは直ちに新聞の經營の上にも、編輯の上にも記事や廣告の上にも影響して、萬事がその空氣の中に包まれて了ふのである。現代の新聞に幾多の缺點や弊害の釀成されるのは、皆な斯様な低級の記者によつて取扱はれて居る結果である。

それで今後の新聞は努めて人物を迎へ入れなければならない。眞に新聞記者の根本義を體得して居る有爲の人格者を以て社内を滿たさなければならない。各種の專門知識や技量に秀でた上に、品性に於て一世に師表たり得る人物を招聘して、大改革を行はなければならない。それには先づ新聞に關する傳統思想を取り退かなければならない。新聞が單に現實社會の反影だなどと考へて居れば、質の惡い記者が靑蠅のやうに寄り集まるのであるが、これを理想的な人生の光明であり社會の木鐸であると革め直せば、人格のある記者が自然に生れて來るのである。現代の新聞社に人格のある記者の少ないのは、その適任者が社會にないと云ふ意味ではない。適任者が社會に澤山あつても、現在の新聞社といふ場所には育たないのである。育つ者は只だ人格の下等な記者ばかりである。それで記者の改善はこれを遠い將來に求むべきものでは無く、邇く新聞に關する根本的思想を廓淸する自覺に求むべきものである。この自覺にして新聞社會の主腦者に起れば、人格のある記者は自ら發育するのである。

口會員田中虎登君は歸郷して居らるゝが郷里草刈村では遊廓の爲めに住民は悲慘な結果に陥れらるゝので全村騒つてそれが廢止方當局に迫まらんとして居る。しかし當局は人民の代表者でなくて特殊なる人々を代表して居るのであるから村民の希望は實現されるかどうか疑問であるとしても兎に角かうした運動が起る事は悦ばしい事である。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

貞操の意義

番町教會牧師　額賀鹿之助

一夫一婦の道德と日本現時の醜風汚俗

基督敎の最も重要なる道德は家庭の道德である。その家庭を潔める神聖なる家庭となし、眞の平和なる家庭とするのである。パウロが「イエス・キリストを信ぜよ、さらば汝及び汝の家族は救はるべし」と曰はれたが、卽ちイエスの宗敎は我々各自の家庭を救ふのである。救はるゝのは信仰である。そして最も大切なる要素は其の家の夫婦である。一夫一婦の道德が行はるゝ所でなければ神聖なる家庭の出現は決して望まれない。近頃新聞雜誌に貞操問題が取扱はるゝのは喜ぶべき現象である。けれども日本の家庭及社會の狀態に於ては六つヶ敷いことである。併し本當に日本を救ふ力はそこにある。本當に愛が家庭の内に實行として顯はるゝ、それが一夫一婦の道德となるのである。けれどもそれがそれが日本人にははつきりせぬ。

此間も友人が私を訪ねて、今日の社會狀態に就て色々話された。職掌上其のことに關係して居らるゝので、私に申さるゝのに貴下は御存じないだらうが、男女の風儀の亂れて居ることは實に甚しい。殊に上流社會の家庭及生活狀態が腐れて居る。此儘ならば其のために滅びはせぬかと思ふ程である。今日日本の政事家の如きも殆んど節操に就て考へてゐない。さうして爲す所傍若無謚である。それ以下のものも言語同斷である。此傾向はひとり日本のみならず歐米とても甚しい。歐洲大戰後、獨佛其の他の國々に於ける男女間の風儀が非常に亂れた。それも多くの男子が戰爭の爲めに戰死して、女子が比較的多くなりたるため結婚出來ぬ關係もあるのである。私の友人が獨逸に參り二三年居る積りであつたが、六ヶ月ばかりで他に轉ずると云つて來た。それは彼の國の墮落と生活の惱みを見兼ねたからである。

米國醜業婦の跋扈と牧師の熱誠なる撲滅策

嘗て米國桑港の魔窟には紅燈を掲げて其勢當るべからざるものがあつた。そこで牧師ポール・スミスが醜業婦退治運動を起し、警察と力を協せて閉店せしめ、醜業婦が他へ放逐した。處が、其の醜業婦がポール・スミスの牧してゐる中央メヂスト教會に押し掛けて來た。そして退治の理由を聞かして呉れ、醜業を營まなければ生活の途を絕つのである。それでも宜しいか理由を聞かせて呉れ、神は愛なりとの敎の下に其の理由を聞かせて呉れと絕叫したのである。そこで教會の表戸を明けて入れた。彼等は何ヶ條か不滿の理由を陳べたが

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

その内に醜業は生活のためてある。食料其の他生活費を要する。之を廢めさするのは吾を殺すのてあると云ふのが重要なる條件てあつた。スミスは之に答辯すること能はず、唯私は知らぬと申しただけてある。然しスミスは非常なる熱心と勇斷を以て此一廓を閉鎖して桑港を追出した。

處がそれがサクラメントへ移轉して軒を並べて居ると云ふ樣な風て、丸て飯の上の繩を追ふやうなものてあつて、誠に恐ろしいことてある。けれどすスミスは非常に熱誠なる牧師てあり、婚風家てあるから、特に活動寫眞を作り自ら役者となつて之が撲滅に盡力して居る。又米國に就て感服すべきことは、此腐つた空氣が神聖なる家庭の中迄浸入して行かないことてある。若しも家庭に浸入せしむるならば、一大事件として社會より追放せらるゝのてある。米國の二十二三萬の人口を有する或る都市に夫婦と子供て住つて居る人があるが、此家には客が來ないので誠に淋しい。不思議に思ふて聞き質して見ると、此家の主人が十年前に男女間の醜關係があつた。それで多くの人々が此人を排斥して交際せぬといふことが判明つた。

□夫婦相互の人格的一致と一神教を根源とする貞操觀

日本てはさうてない。地方の代議士が東京へ出て來て、亂行を逞ふするのは當然の如くに一級社會から思はれ、大びらに行はるゝのてある。日本に於て一夫一婦の精神を鼓吹するには、餘程の力を有せぬければ、傳染病の如く直ちにやらるゝのてある。そしてそこが信仰てある。男子は女子の人格を尊敬する。又女子は男子の人格を尊敬する。眞に淸らかなる混りのない心情(ハート)が合體し融合するのてなければならぬ。基督は離緣に關し『また曰ることとあり凡そ人の妻さんとせば之に離緣狀を與ふべしと。然ど我爾曹に告ん姦淫の故ならで其妻を出す者は之に姦淫なさしむるなり又出されたる婦ヶ娶る者も姦淫を行ふなり』と仰せられたので、姦淫は目に見ゆるのみならず、場合に於ても之を行ふことになるのてある。之を理解せぬならば貞操問題は論ずることが出來ぬ。

要するに人格的一致が貞操てある。そして本當の根ざしは宗教てある。のみならず一神教の上に乘つて居らなければならぬ。然らざれば眞に强きものてない。日本の如く多神教なるときは何うしても一夫多妻となるのてある。八百萬の神は轉々として盡くる所を知らぬ。此心の作用が人間と人間との間に起るのてある。之に反して十戒の内に『我の外神あることなし。我は嫉の神てある』とあつて、唯一人てあるその高い高い宗教思想が一つになる時、純眞となるのてある。

□路得の眞摯なる貞操と汝の神は我神との信念

舊約聖書の路得(ルツ)記は路得(ルツ)の純眞なる貞操美談を書き顯はしたものてある。其の十數項を抄錄するならば、

『士師の世をさしむる時にあたりて國に饑饉ありければ一箇の人その妻と二人の男子をひきつけてベツレヘムユダを去りモアブの地にゆきて寄寓る ニその人の名はエリメレクその妻の名はナオミその二人の男子の名はハコロンをよびキリオンといふ、ベツレヘムエダのエフラテ人なり彼等モアンの地

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

にいたりて其處にをりしが 三ナオミの夫エリメレク死てナオミとその二人の男子のこさる 四彼等おの〳〵モアブの婦人を妻にめとるその一人の名はオルバといひ一人の名はルツといふ彼處にすむこと十年許にして 五マロンとキリオンの二人もまた死り斯ナオミは二人の男子と夫に後れしが 六モアブの地にて彼エホバその民を眷みて食物を之にたまふと聞ければその媳とともに起てモアブの地より歸らんとし 七その在ところを出たりその二人の媳これとともにあり彼等ユダの地にかへらんと途にすゝむ 八爰にナオミその二人の媳にいひけるは汝らはゆきておの〳〵母の家にかへれ汝らがかの死たる者と我とを善く待ひしごとくにねがはくはエホバまたなんぢらを善くあつかひたまへ 九ねがはくはエホバなんぢらをして各々その夫家にて安息處をゑせしめたまへと乃ちかれらに接吻しければ彼等聲をあげて哭き 十之にいひけるは我ら汝とともに汝とともに汝の民にかへらんと 十一ナオミいひける女子よ返れ汝らなんぞ我とともにゆくべけんや汝らの夫となるべき子猶わが胎にあらんや 十二女子よかへりゆけ我は老たれば夫をもつをえざるなり假説われ指望ありといふとも今夜夫を有つとも而してまた子を生むとも 十三汝等これがために其子の生長までまちをるべけんや之がために夫をもたずしてひきこもりをるべけんや女子よ然すべきにあらず我はエホバの手ののぞみてわれを攻しよを汝らのために痛くうれふるなり 十四彼等また聲をあげて而してオルバはその姑に接吻せしがルツは之を離れず 十五是によりてナオミまたいひけるは視よ汝の娌娌はその民とその神にかへり往く汝も娌娌にしたがひてかへるべし 十六ルツハいひけるは汝を棄て汝をはなれて歸ることを我に催すなれ我は汝のゆくところに往き汝の宿るところにやどらん汝の民はわが民汝の神はわが神なり 十七汝の死るところに我は死に其處に葬らるべし若死別にあらずして我なんぢとわかれなばエホバわれにかくなし又かさねてかくなしたまへ 十八彼媳が固く心をさだめて己とともに來らんとするを見しかば之に言ふことを止たり。』とあるのである。

此汝の民はわが民汝の神はわが神なりといふ所に神に對する節操の根抵が胚胎して居るのである。日本現時の頽敗せる風習を廓清し、墮落の淵に沈淪する國民を救濟するには、吾等如何なる針路を執るべきであるか。他なし詐りなき純眞の信仰、一人の神にして八百萬の神でない、その天父に由つて眞の純潔操を唱道宣傳すべきである。そして淸らかなる家庭を作り、以て日本を救ひ世界を救ひたいと思ふのである。尙ほ此事は吾々の實際の生活上から實行して行きたいと思ふのである。

本會及支部講演會

□十一月二十日長野で益富氏を勞して講演會を開いたが相應の好果を得た樣である。

□同二十六日横川にてこれ又同氏を依囑して講演を催した。横川からの消息に依れば非常なる盛會であつたさうである。願はくは强大なる支部となりて本會の主義の爲めに闘はれん事を祈る。

□十二月二日濱松支部に於いて島田會長及び平岩宜保氏の講演會があつた。やはり驚ろく程に聽集があつた。

□尙本部の講演會は本月十四日に靑年會館で致しますこれは本年を終るに當りて我等の主張を社會に訴ふると共に、來春は更らに絶大の偉力を奮うて奴隷制度を擊破する爲めの斥侯戰である

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

倫理教の運動

内ヶ崎作三郎

これは巣鴨講和會に於ける宗教文化講座第五回の講演を筆記したものであります。連續講演中の一節として特に倫理教の運動に關するものをこゝに掲載致します宜敷御了承を乞ふ　編者

ヨーロッパは何と云うても基督教に支配されて來た。宗教改革があつてから色々な教派が出來たけれども、中心は依然として基督教であつた。然るに一千八百七十八年アメリカに人類教とも云ふべき新らしい道德運動卽ち倫理運動が起つた。その主稱者はフェリックス、アドラーと云ふニウヨークの猶太教會に屬する人である。猶太教と基督教とは今日まで二つになつて來たが、主な理由は基督教では耶蘇を唯一の救主とするに對して、猶太教では耶蘇を單なる豫言者の一人と視て居る點の相違である。猶太教は今日でもなか〳〵勢力がある。アドラーの父はラッバイと云うた。アドラーは獨逸に留學したが當時流行の合理派哲學の影響を受けたのである。彼れはカーネル大學にセミテック及言語學を研究して歸國した。そして一千八百七十八年ニウヨークに倫理修養協會を組織した。その目的は猶太教及び基督教の超自然的なる教條より倫理道德を解放せんとするにあつた。則ち道德を人生の最も大切なるものにせんとするのである。神學、哲學、かうした形而上學的考察關係から放れて個人的なる關係に基礎を置かんとするのである。彼れの言によれば人生の所有なる關係に於いて倫理は最も大切なるものにして、神に訴ふるよりも道德律、良心に訴ふる道德上の正義に重きを置くのである。則ちクリードよりもデードに重きを置くのである。

アドラーの運動も次第に盛んになつて、最初は猶太教の新人等がその後援をして居たが、その後それ以外の人も加はるやうになつた。彼れがこの運動を始めたのは今より四十六年前であるから、もし三十歳で始めたとしても今は七十以上になる譯である。彼れはニウヨークのセントラル、チャーチの講演を毎日曜日して居るが、閑靜な教會で内部はアッサリした日本的な色彩である。恐らく日本趣味を加へたものであらう。私が行つた時は三四百人の聽集があつた。講演はかうした社會問題を取扱ふのである。講演は資本と勞働の協和と云ふ題であつた。この會員中には經濟學者のセルグマン（編者云ふこれは日本にもその經濟學が飜譯されて居る人である）なども居る。出口では本とか雜誌とか倫理的のれんび歌と云ふ樣なものを賣つて居た。この會員は一千二百人でその支部はロンドン、ベルリン、ローザン、パリーその他到る處にある。

アメリカの協會では毎日曜講演會を開いて居る。ニウヨー

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

クの協會では、社會事業として日曜學校もやる。そこでは世界の重なる宗教の歴史を敎へるのである。私はこれを甚だよろしい企てであると思ふ。日本などにても學校で無意味なる課程の一二を減じてかうした歴史を敎ふる方が文化の爲めに何んなによいか知れないのである。さうして聖者達の經て來た道を知らせるのは實に有益な事である。又幼稚園も經營して居る。その外貧しい人々の爲めに徒弟學校を無月謝でやつて居る。工業博物館もある。更らに貧民窟の爲めに派出看護婦を巡回させ、困つて居る人を訪問させ、もし病氣でもして居ればすぐに手當をしてやり、產婦のある時にはその世話をしてやる。かうしてあらゆる方面に實際的な善事をするので評判もよい。これは一つの進歩である。思ひ出した樣に講演をやり存在さへ知られて居ぬ樣な今迄の倫理運動とは趣きを異にして居る。思想を實際化した處にこの運動の強味と進歩とがある。この外に女の徒弟學校がある。

英國では毎日曜の夜に講演會をやつて居るが、儀式の國丈けに敎會らしく讃美歌をやる。併しその內容は義務とか、友情とか云ふ樣な事が多い。一九一〇年リーシターで頼まれて日本の宗敎運動に付いて講演をした事がある。一體この協會では講演を聞えたものがそのまゝ歸るのではなくて、自分がその講演に對して不滿足な場合は講演者に質問する事になつて居る。これも一の進歩である。かうして自分の心に納得するまで相互に硏究すると云ふ事は、聞き放して歸るよりは何れ丈け利益であるか知れない。私の時にも色々な質問があつた。それは勞働者であつたが日本に居る友人から送られた神戸クロニクル新聞を見たとて、日糖事件の事を質問するのであつた。政治家が收賄するとは何事であるか、そんな事で何うして政事がやれるのだと云ひ出した。その次ぎは日本の公娼問題であつた。これには何と云うたらよいか困つて了つた。仕方がないからこれは日本のみの問題ではない。同時にロンドンの問題であり、伯林の問題であり、パリー、ウキンナの問題であると云うたら、引込んだのでホット安心した。かう云ふ樣に講演の後に必ず質問する事になつて居る。

ロンドンには倫理協會が四つか五つあるが、愛蘭問題とか、倫理道德の問題を講演の主題として居る。會員は百人とか二百人とかで階級も色々あり必ずしも金持計りではないけれども金を出し合つて協會を維持して居る。

協會のモットーと云ふべき個條は七つある。

第一　人生のあらゆる關係に於いて、道德は最も大切なるものである。

第二　善を愛し、友を愛するは、正當なる動機より來る。自立的な協力より來る助力は眞の協力である。

第三　正義の知識、人類の經驗を通して發する知識は、文明社會に受け入れられて居る。倫理道德的理想は必ず社會の趨勢と一致するものである。

第四　各個人に取りて正當に研究せられたる最後の知識は、良心の道德的理性に基けるものである故に、眞理でなければならない。

第五　社會の安寧幸福はその社會に屬する人々の道德上の一致を提供する必要がある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

第六　道德殊に性の事に關しては科學的方法を研究せねばならぬ。

第七　道德的生活は神を信ずると否とに關係はない。故に正義の終極の準備を建てゝはならぬ。倫理的協贊は行爲の正當と知識的研究から生じて來る。

かうしたモットウによりて進んで居る倫理協會は今や世界の各所に存在して知識を實行化せんとして居る。

日本にても毎日曜かうした意味に於ける團體的な國民運動を起す必要がある。人は一週に一度位は眞面目な倫理道德上の事を聞き、研究するのでなければ國民の頭腦が發達するのではない。でなければ次第に道德的な素質が低下する恐れがある。恰悧なればよい道德はどうでもよいと云ふ思想はやがて悲劇を生むものである。單なる知識のみは人生の凡てゞはない。倫理道德によりて力附けられたる人格が必要である。かうした意味に於いて、實際的なる倫理協會の如きものが世界の各所に存在して知識の實行を期して居る

日本にもの種の運動が起る必要がある。それには手段方法及び內容が外國のものをそのまゝ輸入してはならない。外國の倫理道德は何れの國に於てもその國特有の氣候、風俗、習慣、によりて形式されたものであるから、それをそのまゝ日本に移植して好結果を得らるゝものではない。こゝに最も面白い話がある先頃日本を訪問したジョルダン博士が日本の海に住んで居る魚は今から二百萬年前支那海から游いで來たものである　そして支那海に居た時よりも餘程違つた形になつて居ると云うた。私は魚の博士なればこそこの名言ありと思うた。これは決して魚のみの問題ではない。魚でさへも異つた境遇氣候の土地へ來ればそれに適する樣に變化する。增して鋭敏なる人間の倫理道德的內容がその國に適したものになるのは當然である。又さうでなければ何にもならない。外國に於いて價値ある教條或は道德が必ずしも日本に於いて必要とは限らない。この意味に於いて我々日本人には日本の氣候風土習慣に適した國民的の運動が起る必要がある。この立場から日本に於いても覺醒した倫理運動が起り、毎日曜倫理的國民運動の集合を催すことはよいと思ふ。人は一週に一日位は眞面目な倫理道德上の事を聞き、又その事に付いて研究するのでなければ國民の頭腦が發達するものではない。もしそれを怠るならば次第に道德的素質が低下する恐れがある。恰悧なれば道德的素質は何うでもよいと云ふ思想は個人の悲劇を生み引いては國民的悲劇の發生を意味するものである。單なる知識のみは人生の凡てゞはない。倫理道德によりて力强く根底附けられたる人格こそ必要なるものである　これこそ實に社會の誇りであり、人生の根源である。これを思ふ時に私は我が日本にも社會の中へ突進して行く倫理道德的實際運動が一日も早く起らん事を祈るものである。

長命者の話し

日本で一ばんの長命者は三河國寶飯郡水泉村の百姓滿平といふ男で慶長七年に生れ寛政八年に歿したとありますから百九十四歳まで生きたのです、西洋でもハンガリー人でツアールデンといふ人は百八十五歳まで生きて死んでをります。この人は死ぬ三日前まで慈善金募集に奔走してたさうです、またイギリスのペーレーといふ百姓は百五十二歳と九ケ月で死んだ人ですが百廿歳のとき第二の妻を貰ひました其妻が知人に語つて『自分の夫はあの年寄で力仕事といひ其他總てのことが若いものと同じです』と驚いてゐたとのことです、またデンマルクのトラーケンベルヒといふ人は九十一歳まで水兵をつとめ百四十七歳で死んだのですが、百十一歳のとき六十歳の花嫁と結婚し百三十歳のとき第二の妻を搜したが相手になるものがなく怏々として晩年を送つたとのことです。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

刻下の思潮

帝大教授
文學博士　田中義能

田中先生は記者の恩師です、先生のお話は「刻下の思潮と帝國の將來」であるが、「刻下の思潮」だけを掲載しました。先生及び各位の御諒解を乞ふ。

高橋生

現在日本に於ける思潮に就て述べて見やうと思ふ、思潮は思想の潮流で怎んな思想が、現代日本の思想界に流れてゐるか、其潮思想の流を話さうと思ふ。亞米利加のウヰルソンが、歐洲戰亂中にデモクラシーを唱ひ出してから、そのデモクラシーの思想が我國に入つて、一も二もなく誰でもデモクラシーを口にするやうになつた、今日では餘程下火になつたが、一時は非常に流行したものであつた。それで私は今日デモクラシーの思潮に就て御話してみやうと思ふのである。デモクラシーには如何なる種類のものがあるか、私は今便宜上分類して見ると、大體に於て三種に區別することが出來ると思ふのである。

第一は政治的デモクラシーであつて、次ぎが產業的デモクラシー、それから感情的デモクラシー所謂文化的デモクラシーである。デモクラシーはかく三方面に流れてゐると思ふのである。先つ第一の政治的デモクラシーから述ぶれば、このデモクラシーは、日本でこそ非常に新らしい思想の如く思つてゐるが、本家本元の西洋では少しも新しくはない。二千三四百年前希臘のプラトーンやアリストテレースに依つて說かれた思想であつたのである。然らばプラトンは怎んな考へで述べてゐたかと云ふと、彼れは政治の惡しき方面を四つに別けて論じてゐる。一、野心的政治、これは貴族が重に政治に携はる形式である。墮落したる貴族の政治である。二、オートクラスイ卽ち寡頭政治である、小數の資本家が政治を執ることで小數の政治家が、自分等の利益を增進せんが爲めに政治をとるのである。この政治家は例へば青年の墮落することを悅ぶ。何ぜかといふと青年が墮落すれば自分等は金がもうかる、年少者が墮落して、酒でも呑めば遂に破產する、破產すれば自分等が利益を得ることとである。されば貴族の子弟に成るべく教育を與へないやうにして、無教育なる貴族が墮落するのを悅ぶのである。

そんな知識の劣等なる愚劣極るものが師表として上に立つから、一般人民はそれが爲めに非常に苦るしむのである。從つて一般の人民が貴族に向つて反感を起して、遂にデモクラシーが生れて來た。下々の人々が上の方の政治を行ふのである。從來の政治形式が優つたものが上に出て、劣等なものが下にさがるのである。然るに劣等なものが上に出て、優つたものが下にさがる。プラトンの考へは中々合理的である。然

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

劣なものが思ふ通りにするのだから危険である。戰爭が始つても行きたかつたら行く、嫌やなら行かない。罪惡を犯して死刑に處せられても、死にたくない、死刑を受けたくないときには殺されない、誰も死刑のすきなものはあるまいが、大罪を犯しても刑に觸れぬといふことになれば、殺人のすきなものは何人でも殺し、盗賊の止むときがない、社會の風敎を矯正することが出來ないのである、昔俊寛僧都は流された、流されたくなかつたら流されなくとも濟む。デモクラシーなるものは恁ういふ思想である。

優秀になるには忍耐が強くなければ優秀者にはなれない、或は天才者が優秀者になる、知力に於て體力に於て、其他あらゆる點が優らなければ優秀者とは云はれない。そして劣者が下に落ちるのは當然である。然るに其の劣等者が上に立つて、政治を取るといふのである。恁ういふことになる。遂にアナーキズム則ち無政府主義の狀態に陷るのである。殺しても死刑にならなかつたりするから、治まりがつかなくなる、そこでテイランニイ暴君政治が起るのである。力の強い者が出て他をなぐり飛はして、自分が政治をとる。露西亞の政治はそれである。レーニン、トロツキーの如き暴君が出てきて、人民は飢餓に陷つてゐる。露西亞の飢餓は一時的の飢饉ではない、過激派の存在してゐる限り飢餓は續くであらうと思ふ。そこでプラントーンは二千三四百年前に於て、哲人政治でなければならぬといつた。悧口なわけの解つた人が政治を取るのであるから全く善い政治である。實に利便であるが、これを德川時代に話して見たところで、信じられなかつたらうと思ふ。優れぬ人から見たならば、殆と神様の仕業のやうに思ふにちがひない。碁を打つにもそうである。私などはつまらないヘタ碁であるが、上手な人になると、先きの先きまで解つてゐるから、待つてくれをやらぬ。ヘタなものは先きが解からないから、待つてくれを直く初める。嘗て碁の名人本因坊と某男爵とが碁を打つたことがある。すると本因坊は汗を流して打つてゐる。某男爵は非常に得意になつた、名人本因坊とも云ふ人が汗を出してゐるからには、俺れの方が強いかも知れぬと内心得意になつてゐた。愈々最後になつて、某男爵が石を並べませうと云ふと、本因坊は、帝(ジゴ)て負け勝ちなしですと答へたそうである。本因坊は先見の明がある道がに名人だけあつて勝負なしにせやうと思つて打つてゐたから汗も出たに相違ない。總べて偉らい人がやれば先きの先きまで解かる。それで政治も偉らい人でなければならぬ哲人政治でなければならぬといふことをプラトンが考へたのである。

亞米利のデモクラシーは有產階級に起つたが、露西亞のデモクラシーは無產階級に起つたのである。而しどちらも專政である。この種のデモクラシーは決して正當なる思潮ではないと思ふ、次に產業的デモクラシー、卽ち社會主義とか、共產主義、卽ち土地資本を同じにしやうとする思想である。社會主義を科學的に考へたカールマルクスは、人生の目的は唯物的生活にあると云つてゐる。更らに換言すれば物質主義の充足である。衣食住の滿足である。しかし之れは正しき考いではない、我々の働いてゐるのは單に衣食住の爲めばかりで

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ない。人生の目的は決してそんなものではないのである。

昔印度の釋迦は摩迦陀國の迦毘羅城主淨飯大王の皇太子として生れた。物質主義の充足、衣食住の滿足を人生の目的としたら、釋迦は人生の滿足を得べき境遇にあつた。然るに釋迦は生老病死の實際問題に逢着して、此人世を苦と觀じた、諸行は無常であると頻りに苦悶した。父飯淨大王は心配の餘り美しい若い耶輸陀羅姫を嫁つた。羅睺羅と云ふ男の子まで生れたのに釋迦は十九歳の時、或夜牛其王城を捨てゝヒマラヤ山に遁れ、阿羅邏迦蘭、に就き更らに陀鬱迦羅摩子に就て修業をしたのである。釋迦は何故に父や愛する妻や子を捨てゝ、乞食に等しき一食一鉢に甘んじたか。ユダヤのエースキリストも、父の職を續いて勉强したなら大工の棟梁にてもなつて物質の滿足は得られたであらうが、何故に十字架上に死んだか、希臘のソクラテースは怎うして國法に觸れて毒を呑んで死んだか。あの當時の牢屋などは入ることも出ることも自由に出來た。ソクラテースは何ぜ逃げて衣食住の滿足をしかつたか、入獄中に弟子が迎ひに來た、それでもソクラテースは逃げずに毒を呑んで死んだ。楠正成は何ぜ死んだか、尊氏は自分に降參をするものには土地を與へるといふのであつた。正成は何ぜ尊氏に降參して、攝津、和泉、河内の三ケ國をもらつて衣食の滿足を得なかつたか、正成にはそんなことは眼中に置かなかつた。弟正季と刺し違ひて七度生れ變つて敵尊氏を亡ぼすと云つて死んだ。

之等の例によつて見ても、人類の歷史は衣食住の追求であると云ふマルクスの思想は誤つてゐることが解かる。

次には感情的デモクラシー、今日の所謂文化生活であるがこれも正鵠を得たものではない、文化生活といふことは近來よくいふことであるが、人類の生活は根本的に文化生活であるのである。それを知らないで、所謂文化生活の人々は感情の滿足といふやうなことを考へて、ダンスでもすれば文化生活と心得てゐる。ダンスは男と女とが抱き付いて舞ふのであるが、西洋人は胸にコールセットを入れてゐるから抱付いてをどつてもよい、永い習慣上先づ無難であらうが、日本人はコールセットなんといふものを入れてゐない、抱きつけば直くに肉體の接觸を感するから、直ちにとんでもない文化生活を惹起すことになる。文化生活とは二千有餘年來我々の生活してゐる國民生活の根本であることを思はなくてはならぬ。

かくの如く産業的デモクラシー、感情的社交的デモクラシーの根本思想を探究して見ると。そこには自由の思想と平等の思想があるのである。然してこの自由平等の思想は果して實現出來るものであるかどうか、私は絕對にそれは不可能なことだと思ふ。九州の日向には「新らしき村」が建設されてゐる。武者小路夫人が往つてやつて居られる。最初は中村で目論んで見たが、餘り人家に接してゐるので、高なべといふところに建設した。新らしき村の人々は頭髮を長くして、衣服も皆同じものを着てゐるから、一見して新らしき村の人だと云ふことがわかる。私は九州に行つたときに是非その新らしき村を見てくる積りであつたが時間の都合で遂に見ずに終つた。しかし其高なべと云ふ所で武者小路氏が或る人に語つ話を私は其土地の人から聞えた。それは、「新らしき村は凡て

平等です、寢るにも、起きるにも、食べるにも、小使錢も平等に一圓宛です」私はこれを聞えてそれは到底出來得ないことだと思つた。平等といつても平等ではない、寢るにも起るにも平等と云ふことは實際上駄目である。

私は餘程以前に中學校に出てゐたことがある。其時英語の教員で毎日非常に早く學校へ詰める人があつた。私も負けずに早く出勤せやうとして、幾ら早く行つて見ても、何時でも、其人か早い。それで私は其人に訊ねた。怎うして其んなに御早いのかと云ふと、焦れつたくつて、家にゐられないから朝五時には學校へ出るといふ話である。然らば何時頃に起床するのかと聞くと三時に起るといふ。焦れつたくつて寢てゐられないといふのである。かういふ人と我々は平等に寢たり起きたりすることは不可能である。又かういふ人々に八時に寢ろ、朝の六時まで寢てゐろといつたところで六ケ敷いことである。働くのも平等だといふが、それも不可能である。時間だけは八時間制で同じ時間働いてゐても實際六ケ敷いと思ふ。オーストリ、ハンカリーの或驛でも何でもない場所で汽車が停つて動かない。如何したのかと思つて聞いて見ると、車掌たちがもう八時間だけ働いたら、あとは働く必要がない、それで止つたと云ふことが知れて、乘客は止むなく其地方の宿屋に宿つたといふことがあつた。又醫者の所へ行つて急病人が出來たから直ぐに來てくれと云つても、僕は八時間働いたからもう行かれないといふことになつては實に困る。

また荷物をかづぐにしても、我々は八貫を持つには骨がおれる、而し大錦のやうな人は平氣で煙草を吹き乍らさげて行くのである。

次に食物の平等もまた困難である、大錦のやうなものは鰻丼の十杯位食はなければ承知が出來ぬ、といふ大食の者と我々と平等には行かない。月々の小使錢でも同じことで家族の多いものと獨りものでは平等に行かない。

同じ紙を使ふにも西洋紙を使ふ者もあれば日本紙を使ふものもある。平等にするといふデモクラシーの思想は到底實現出來ぬ場合が多いのである。

西洋の社會主義にはまだ／＼困つたことがある。それは住所を平等にすることである。卽ち平等國の政府では住宅を沒收して終つて、新たにそれを平等に分配する。平等に分配しても住宅には大きいのも小さいものもある。それは抽籤によつてきめる。大きな室に當つたものは便宜だが、狹まい三疊位の所に當籤したものは實に困る。

次ぎに平等國では夫婦を認めない、結婚を國家が認めないのであるから、男女が共同生活をして嫌やになつたら自由に分れて、又他へ行くといふやうに極めて安直になつてゐる。そして夫婦になつても別居である。近い所に互ひに居たいと思つても抽籤で與へられる住宅であるから、男は小石川に住んでゐても女は品川あたりに住宅を與へられることがある。

また各人の食べるものは一切自分の家でやらない。公立食堂に行つて平等に食べることになる。それも食堂の近い所に住んでゐるものは十二時が打つてから食べに行つても遲くはないが、食堂から二十丁も三十丁も離れた所に住宅のあるものは、朝行つて食つて歸つ來て、また晝飯になる。そろ／＼

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

十時頃から出かけて歸つたかと思ふと、又た夕食に出かけると云つたやうに始終三度が三度食堂と自分の家の間を往つたり來たりしてゐて、仕事なんか出來やしないのである。また、食物を食べるに遲そい人もある、人が三杯食べて終うのに一杯しか食べない、それでも時間ですあとがつかへますから出て下さいとなる。もう一杯食ひたいと思つてもそうは行かぬ。多くの人の中には魚のきらへな人もあらうが、矢張り平等に喰べなければならないのである。

着物も又たそうである。我々の普通の着物は三尺三寸であるが大きい人と小さい人では大變違ふのである。貴郎は近頃大變長い着物を引摺すつてゐるがどうしたんですか、近頃は平等になりすまして、又背の高い人がツンツルテンの短い着物を着て近頃は平等になりましてといつた具合に、甚だ滑稽なものになつて終ふのである。

平等國では子供が生れると直ぐに公立保育所へ送つてしまふ。又た六十歲以上になればこれまた公立養老院へ送られて終ふのである。曾つて巴里の產科婦人科病院で、毎日五人十人位つゝ生れる。或る日看護婦たちが大勢集つて多數の子供たちに湯を浴びさせてゐた。どこでも同じことだが看護婦はよく饒舌るものである。かれ等は餘り饒舌りすぎて、子供のほうを忘れた。どれが自分の擔任の子供だか解からなくなつた。じれてもいゝやといつて伴れて行つたと云ふことが書物に書いてあつた。

所謂自由平等の結果は遂にかくの如きものである。ビスマークが、共產主義は大規模の監獄を造るものなりと云ふたのは當然のことである。私共大學に學んでゐた頃に、社會學の先生は、視察として巢鴨監獄を見たのである。誰も行つたことがないので、皆珍らしがつて見た、杓子の柄の取れたやうなものにお飯が平らにして幾つもあつた。これはどうするかと聞いたら四人の飯である一杯宛平等にやるといふのである。汁も平等であるとのことである。をまけに着物まで平等な色の着物である。平等を研究するには監獄が最も適切なところである。若し平等を研究したい人があるなら、少し位監獄へ行つて實地にやつてみるのもよいか知れない。以上種々なる例證を擧げたが要するのに、デモクラシーの根本思想は決してうまく行くものではないのである。（文責在記者）

北海道の密賣淫者數

北海道廳衛生課の調査に依れば最近一ヶ年の全道に於ける密賣淫檢擧人員は實に七百五十人に達し、年々增加の有樣であるが、最も多いのは酌婦の三百五十一人でそれに次て雇女の百五十六人、藝妓の百七名がある、その他に素人女の密賣淫をなして檢擧されたものが百三十六人もある、處が右の七百五十人に就て健康診斷を行つた結果によると、花柳病等の有毒者が百九十九名あつて檢擧人員に對する百分比にして見ると二十六人五分に相當するさうで、最も多いのは酌婦の九十三人で、雇女五十七人、その他三十一人藝妓十七名と云ふ狀態である、これを前年に比較してみると檢擧人員に於て酌婦は五十餘人の減少であるが、藝妓とその他は殆んど二倍に增加してゐる、之等は只數字上に現はれたもののみであるが實際はこの外に檢擧人員の三倍もあらうとの事である、近年壯丁の身體檢査の結果著しい增加を示してゐるのは花柳病患者である、花柳病が家庭の團滿を破り國民の體質の上に惡影響ある事は何人も頷く處であるが北海道のみにてこの數字を示すとは實に驚くべき問題である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

上代の女

第一高等女學校長　市川源三

女の問題は二十年來研究してゐるのだが、私はよく女は優秀であると云ふことを云つた。近來はそれをあまり使はぬやうに思つてきた。優秀であると云ふことは女は男に比して何々の點は優秀であると云いふべきものである。何々の點は優秀であるが或る點は優秀でない、男は或點は劣つてゐるが何々の點は優秀であると云ふことになつて、お相互に優秀な點、と劣等な點が男にも女にもあれば結局優秀でないことになる。私はこの意味に於て濫りに優秀といふ言葉を使はぬやうになつたのである。

今日に於ては女子優秀論が唱へられてゐるが、男子よりも優秀ではない。古のやうに士農工商の區別を喜び、其標準が一つであつたから簡單な區別することが出來たが今日はそうはいかない。德川時代では、學者、藝術の位置が低くかつた。學者が幾ら偉らくとも、藝術家がいくら偉らくとも、政治家の偉らい人とは比較にならぬ。今日は學者が一番偉らい人も藝術家で一番偉らい人も、政治家で一番偉らい人も、皆同等に一番偉らいのである。されば無自覺なものが猥りに優秀と云ふことを使ふのは宜しくない。全體として優秀といふことは出來ないのである。コンクリイート、ホール則ち俱躰的全躰として、從來は女子よりも男子が優秀であると思はれてゐた。從來は女子は男子よりも優秀を認められて居ない。

人種から云へば女子優秀である。往時は男は種子、女は畑であるといふやうな語があつた。而し乍ら私はそうは思はない。道德的方面から見ると、如何なる犯罪を見ても、女は男の四分の一の犯罪しかない、犯罪の裏に女ありなんと云ふことは、餘りに男子ばかりに犯罪が多いものだから、女子にも犯罪の責任を別かたうと云ふ男の勝手な云ひ草である。若し犯罪の裏に女ありと云ふならば犯罪の裏に男ありと云つても、同じ譯けである。

女の犯罪は戀の意志はらしとか貧の上の小ぬすみとかいふやうなことはあつても、殘忍な、破壞的な、虐殺といふことはない、あつても實に僅かだと思ふ。

女には男よりも優秀な點が三つある。それは

一、淨化作用、二、人種の保護、三、教化作用、

この三つは慥かに男子よりも優越なところである。殊に教化作用、不良性の學生を感化するには母に限るのである。感化事業や教誨者が改悔させる爲めによく母を用へるのである。亂暴な生徒を訓戒するにも母親をもちいるが一番效果がある父を呼んで話しても一向に生徒には效がない。お前の父を呼んで話してやると云ひば、どうか父に話して下さいと一向平氣

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

であるが、母を呼んで云つてやると云ふと、おつさんを呼ぶのはやめて下さい。母を苦るしめるに忍びないといふて大抵の生徒は訓戒を守ることてある。母の子供に對する力は實に偉大なるもので、之れを從來敎育上に使はなかつたのは遺憾である。封建時代の餘風ともいふべき日本の殺風景な日本の學校騷動は母の力を敎育上に用へなかつたからてある。斯くの如く考へて見ると婦人は優秀である。これを從來敎育に認めないのは遺憾である。私は九百名の生徒に對して、無記名で讀んだ書物の名を投書させて見た。殆ど全部が惡るいものを讀んでゐない、我々が見て氣に入らぬ婦人雜誌を讀まない。九百人中、新演藝が二人あつたきりて、其他は金の船だとか少女の友だとかいつたやうな小女雜誌を讀んでゐる。子供の讀むやうなものを大きななりをして、十七八のねえさんが讀んでゐる。無記名ならば隨分思切つた告白を書くものだが、小女といふものは脫線しないといふことが解つたのてある。小言を云はなくとも惡るいことはしない。學校の踊りに活動寫眞ても見る積りなら、充分見る時間はあつても見ない。婦人を尊敬するといふことは、家庭及び社會を改善してゆく上に認めねばならぬ。封建時代の餘弊といふ、日本てはとかく女を尊敬しない。西洋に於ても日本の婦人は仕方のない女だと思つてゐるものが多い。それは如何なる譯けかと云ふと、西洋から日本に來てゐる傳導師や牧師が曖昧な報告を本國に報告するためてある。日本の婦人の墮落してゐることは實に甚だしい。が自分が赴任してから餘程くなつた。而し今尙惡るい。今後大に改善するつもりてある。といつたやうな報告をするのである。これは西洋人ばかりてない、日本から外國へ行つてゐるものが歸つての話は矢張り西洋の女のわる口をいふのである。

卽ちシカゴ、ロンドン、パリのやうな女の自由の國の女は實に亂れてゐる。少し進んだものになると、娘の中は品行方正だが人妻になると反つて自由になる爲めに行が亂れるのもある。

日本婦人の貞淑は、日本道德に固執してゐるが、德川時代の女を壓ひつける道德に過ぎない。西洋は女が偉ばつてゐるから貞操念がない。これ等は歷史を調べて見なければならぬ。社會の統計をとつて見る必要がある。而し乍らこれ等は輕々しく結論することは出來ない。しかしこれは最も必要なことてある。道德の統計をとつて貞操の程度の統計によつて判斷する必要があるが之れは中々六ヶ整い。離婚の問題、これは貞操と並行するものてはない。英國は離婚が少い、米國は西の方は少いが東の方は多い。

そこて我國のあまり男女關係に就て、六ヶ敷い規定を設けぬ時代、卽ち上代の婦人はどうてあつたかと云ふと、封建時代は非常に壓迫されてゐるが、上代に於て壓迫ざれてゐない。それて上代の女に就て考へて見たのてある。亞米利加の男女問題を研究する雜誌が、約二百萬人の婦人に就て貞操を統計した、千人に就て三十五人の婦人は結婚前に夫とすべき男てないものと關係してゐる。中々奇拔なのもあつた。全く淫奔と云ふよりも夫婦になるつもりの男と添はれぬ事情があつたとか種々なる事情がある樣てある。近頃の告白もの丶及

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ぶところでない露骨で隱して居らぬ。日本人の統計を見たいと思ふが中々無ヶ敷い。アメリカの統計を見て亞米利加の貞操觀念をきめることは出來ない。日本人の統計をとつて見たら亞米利加人より少いといふことは出來ない。田舍などへ行くと結婚前處女でない女が多い。東京で之れを知ることは困難であるが、自問自答して貰ひたい。

西洋では醜業婦が散集してゐる。そして巡査のゐる前で平氣で客を叫んでゐる。町の中で彼方でも、此方でも客を呼んでゐるのである。

それ故に非常に多いやうな感じがする。しかし日本でかう自由制にしたらこれに負らぬ醜觀だらう東京だけで藝娼妓が各四千人づゝある。これだけのものを日比谷、上野邊へ散らしてみたら非常に多いやうに感ずると思ふ。

そこで私は自然の狀態に於て、一種の社會組織の出來ない時代の男女はどうで有つたかに就て考へざるを得ない。

古事記とか日本書記とか萬葉集などを讀んで見ると、婦人の地位は高いやうである。天照大神が祖先でをいでになるのでも解かる。伊勢の御廟や加茂の社に奉仕するものは婦人であつた。男は早くから穢れてゐるといふので男は奉仕出來なかつた位である。

上代の男は種々の婦人に關係したことは事實であるが、女は罪としてある。夫婦となつてゐる中に夫が他女の女に接してゐるのに女のやきもちの歌が澤山ある。女が他の男と關係して殺されたのはない。夫婦の男が他の女に關係してゐるものは妻に對して恐縮してゐるところか歌にあらはれてゐる。上代の男は女に對して同情を表してゐた。上代の婦人にはだらしの無いものはない。男女の關係を自然にして同等にして婦人は貞操を守つたのである。

要するに女は束縛しても自由にしても同じものである。されば私の考へでは男女自由交際を許し共學を許しても、現在より亂れることは豫想されない。もつと男女交際を自由にして、結婚を有意義にし、且つ自由に出來ることを望むのである。而して結婚の悲劇の家庭の和氣靄々の欠乏をおぎないたいと思ふのである。

遊廓廢止運動の擡頭

好景氣の時代には各地方にて遊廓の如き醜職業の存在を別に問題ともせずに過して來たものが、不景氣の風襲ひ來たるや始めてその存在の危險なる事を覺知するに到つたのである。吾々は各地方からの通信により、或は新聞の記事によりこの問題が次第に火の手を上げ來たるを知るのである。遊廓又は淫賣屋の存する所には必ず悲慘なる倒産者を出して、家族が路頭に迷ふ有樣となつたものは決して少くない。好景氣の時代には民衆も調子に乘り正邪の判斷を誤り、或る人々の陰謀に反對する勇氣もなかりしものが、今日となりて急にその危險に氣付いて遊廓地等の廢止を當局に迫まらんと欲して居るのである。けれども當局は必ずしも民衆の際を納れて即時に廢止する如き方法を取るとは思はれない。しかし民衆にはこゝに一つの方法がある。それは當局の態度がどうであらうとも、民衆はかゝる處に出入するものを不徳漢として社會的に一種の罪表を作る事である。かくの如き方法によりて、即ち民衆の徹底せる自覺によりて營業者が自ら廢業するに至るを待つは無能なる當局に迫るよりも力强い方法である。この方法は大都會にありては成功せぬ場合があるが、然らざる地にありては唯一の手段である。當局が人民の爲めに存在して居ない時にこれは民衆に與へられたる唯一の手段である。私はこれを實行せん事を祈るものである。

村上生

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

十七年目に米國に來りて

林歌子

(一)桑港到着

深き名殘を惜みつゝ母國橫濱を出帆してより十七日目八月九日の朝方深き霧を冒しつゝ船は桑港ゴールデンゲート灣に入港いたしました、直ちに多數の有志諸氏に迎へられて上陸し、東ヶ崎家よりは御親切に自働車を差廻されて同家に落着く事になりました。上陸第一の御馳走にとて晝はおそばうどんと云ふことにて、私の大好物なる麵類の御馳走を頂き海上の御馳走を洗うたやうな心地がいたしました。夕飯には若き婦人たちは早くも洋裝せられて共に食卓の人となり夫れより、私のために東ヶ崎氏御令息のお室を與へられ茲に行李を解きました。東ヶ崎夫人は實に御親切に何から何まで御心配を下さいます。殊に服裝を御心配下さいまして、可成金を使はないやうに支度を整へんと親切にテーラーを呼びて色々とお世話されました。三日前に米國の土地を踏みました六十歳に近き日本婦人が三日間に東ヶ崎婦人の御親切で一文も費さずに買ひあつめと新調で米國婦人が出來ました。先づ足場の準備を整へて愈々本舞臺に上ります。皆樣のお祈を願ひます。

(二)面目一新

爰桑港の地は實に十七年前、卽ち大地震の前の年に見た計りて、全く見當が付かず、以前には自働車などは殆んどなく、馬糞のために肺病患者が多いと云ふたものも昔の夢となり、道路の立派なることは實に羨ましく思ひました。人口は六十萬内外、日本人は約七千とのことであります。自働車の多いことは實に驚ろく計りて、米國一億萬人の中八百萬臺の自動車あり、十二人に一臺の割合となつて居るさうです。米國て自働車の多い町は、三人に一臺位になつて居て、皆自分て運轉をなし全く實用に供されて居ります。

(三)牧師と自動車

フレノーからサンタバーバラまでは約三百餘哩もあります。それに、私がサンタバーバラに居る時、フレスノーの福島牧師は自働車で說敎應援にかけて來られました。敎會の大抵の牧師は自働車を持ち、日曜學校の生徒も自働車にて送迎なし、敎會の集會にて六七十哩といふも少しも苦にならず、大抵の家にはピヤノ一臺自働車一臺は必ず備へられてあります、何といふ文化の進歩でせう、

(四)殉職牧師

福島牧師のドライブにて殉職牧師故河田牧師の墓を展しました。白人の墓地に續き河田癸之墓と誌し、少し離れて牧師を殺害したる原島減造の墓があります、殉職の由來はかうです。

同牧師が、同胞間の爭ひの仲裁をされて、一人の邦人の監獄に行くべきを救はれたるを、其喧嘩の相手は無法にも、河田牧師をうらみて、夕方午後五時半頃牧師は近郷の傳道を了へて、歸宅し椅子に腰折掛けて休憩、夫人は厨房にて夕飯の仕度を整へ、三人の愛兒は嬉々として相戲れ遊ばるゝ折しも、扉を排して入り來りしは原島淺造と申す者。河田牧師は欣然として彼を迎へた彼は爭論の相手堀田を出せと迷味し、牧師が「堀田は誰?」「まあ座れ」と、彼と握手せんとせし刹那彼れは答ふるに一發の銃丸を以てし、牧師の片腕を貫く、牧師は尙も溫顏を以て「まあ座れ」、話せば判るとなだめたるも彼れは續けさまに五發を連發し、河田牧師は心臟を貫かれて哀れや、最愛の妻子の面前に

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て其職に殉死されました。

此尊ふべき殉教者の記念會堂は建築されてピストルに打たれしガラス椅子テーブルは記念物として保存され其當時の慘狀を物語つて居ます。其當時河田牧師に導びかれたる熱心なる信者たちが今や教會の柱石となつて居られます。現今白石氏夫妻が牧會に當られて居ります。

（五）ロスアヂエルス

ローサンゼルヌに着しましたのは八月十五日。南加傳道團の田中牧師及有志並に皆川主一氏並に同夫人等に迎へられて、宿は皆川氏方に願ふことになりました。ローサンゼルヌは十七年前に比して非常なる變化を示し、人口は七十萬人、日本人は殆んど一萬人、人口の多き事は桑港に越へ、周圍には日本人の農業家多く、マーケットは日本人の手に作つたものが過半を占め、排日の根底は大分此の地方に移りたる由。一日一富士にて私のために歡迎會を開かれ、大山領事を始め、日米新世界新聞社長其他二十一人計り、羅府の中心人物網羅され、大阪の西村宇之助氏も來會、米國婦人に注文を申出てゝ結極日本の教育がわるい、もつと實際的に教育せねばならぬと、議論に花が咲き樂しき集ひに時を過しました。

實際的教育！さうです、日本の教育は餘程此點に於て米國に學ぶべき必要があると存じます。

（五）同胞農夫

・歡迎會の歸るさ、私はマーケットに立寄りました。時は九時過なるに、早くも西瓜や果物はマーケットに運ばれて、近きは二三哩遠きは十哩二十哩より、自働車にて野菜果物を運び來る。營業時間は朝七八時より十時頃に終る。その激しき活動振、同胞の辛苦、轉た同情の念にたへず。

（七）婦人參政權

この地は十七年前にも來り其時は金子眞成氏夫人の溫き同情を受けましたが、今や其人なし、併し積善の家には餘慶あり、第二世錠次氏と夫人みや子氏の間に九人の子寶を惠まれ、信成氏の非常なる努力にて米國へ全く歸化し、御主人は勿論夫人にも選擧權ありて十月に米國上院議員の選擧あり。ヂョンソン氏とムーア氏兩人が、其候補に立ちて居ます。ヂョンソン氏は排日派なれば、ムーア氏を選擧するは當然同胞の希望です。果して何れが當選するでせう。それはとにかく、我が母國にては男子の普選問題さへ解決せられないのに、こゝでは婦人の參政權さへも既に確立して、主人と妻と二人が選擧權を有するとは、何たる嬉しきことでせう。思はず金子みや子夫人の手を握りて、共に自働車で故人の墓地を展し、十七年前の厚志を感謝しました。

（八）舊恩人

一日ローサンゼルスより二十四五哩の海岸ロングビーチへ行く。茲には長く日本に働かれて、よき感化を遺し、又大阪博愛社の大仁時代非常なる困難の時分に、厚き同情と後援を與へられたるペーチ教師が老後を靜かに送はれつゝある所です。非常に喜こんでむかへられました、兼て中風のために惱み居らるゝ由聞き、心配して居ましたが歩行が少し困難位で杖を持たずに室内の歩行出來、家の周圍は野菜畑を作りベッドが二つ戸外にありて、毎日外氣を吸ふて耕し、耕しては休み休みては耕す。ミスターペーチは今は百姓ですと夫人は申される。長男ヂエミペーチさんは世界大戰に戰死をされ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

たとのことて。同情にたへません。

(九)主婦と裁縫

一日又南加裁縫女學校に行き、校長小川夫人の企にて生徒四五十人に講話をしました。生徒は皆主婦子持が大部分、中には日本より來りて間のなき人にて、子供のなき人もあれど子供を伴ひ來るもあり、他へ托して來るもあり、熱心に學びつゝあります。期間は六ヶ月、五年前より經營し、既に卒業生を澤山出し、夫れ等の人々が又他にて學校を開き、生徒を教ゆるあり、仕立屋となるものもある由。校長小川夫人の主人は牧師にて専心傳道のために働かる。實に同胞間に於けるよき働きてす。婦人が自分の着物や、子供の着物を自由に仕立つることが出來るなら、生活費はどれ程節約されるてせう。

(十)安孫子氏

一日又自働車にてスタクトンに參り、安孫氏夫妻の御親切なる歡迎を受けました。夫人は津田仙氏の令嬢(津田梅子先生の令妹)桑港にては實に日本婦人の中心人物てす。安孫子氏は明治十八年頃に渡米され、日米新聞を起し、又、プレスノの地方の中加に大和コロニー土地會社を起して、今新に七萬エーカー程の土地を得、　を日本人の手に移さんと、努力されて居ます。加州の土地御耕作し得べきもの七千五百萬エーカー程もあり、今迄開墾した分は二千八百萬エーカーて、加州の人口三百五十萬、之れを日本の內地に比すれば殆んど二十分の一といふ譯です。

(十一)市民權

加州て米國市民としての投票を有する米國生れの男女は略百人程ださうてす。而して今十年待てば何千と云ふ數に達すると申します。ですから、つまりは只時の問題てす。今は移民を制限し米國生れの男女の生長を待つよりはないなど色々伺ひました。

(十二)聖公會總會

九月三日朝六時オレゴン州ポートランド市に安着。桑港からポートランドに來て見れば靜かにして上品、四周山に圍まれて母國京都にても來りつらん心地。六日間我が聖公會の二種の大會が開催されたので出席することになりました。會場は同市のオデトリアム數千人を收容すべき公會堂六日朝七時り三一教會堂に於て大會の聖餐式ありて十時より開會式あり會衆五千人、聖壇の背景の立派さ、白き衣を着けたる千人にあまる大聖歌隊、千人近くの監督のプロセッシヨン、何れも其規模の大なるに驚されざるなく、説教は一時間餘に互り、其要點は教會は總ての問題に對し社會を善導し、聖國を來らすために、最善の努力を獻げざるべからずと云ふ意味てした。

(十三)婦人補助會

午後は婦人補助會のみと男子の側と二ヶ所に分れ、各地方部に分れて、京都とある處へタッカー監督夫人とミス、ラニンと三人にて行き、この日は點呼て終りました。婦人補助會大會に全米國から信施金六十六萬八千弗の多額に達しました。三十年前には米國婦人の獻金僅かに二千二百弗なりしもの、今やかくの如く增加す驚く外はありません。(中に我京都地方よりの信施金四百七十三圓五十錢)

聖餐式の前に過去三年間永眠せる人々の氏名を讀み上げられましたのは、よき慣例だと存じました。大會二週間は各種の會合有て實に多忙。一日四分間の紹介演說あり。私はスミス牧師の通譯にて四分間の演說をなし、日本より持ち來りし報告書類は瞬間に競つて持ち歸られました。今日の演說後私の事をアイダリー、ワビング、レデーと稱へて多數の方々の握手を受けました。

印象深き集會てしたが、そは何れ又後便で申上げませう。

個人消息

□島田會長は近頃少しく健康を害されたので、演說會の約束されたものの中にも御斷りした處もある位てすから當分諸演會には出席せずに靜養さるゝ筈てありますしかし本誌の爲めには必ず論文を御書き下さる事になつて居ります。

□安部副會長は先月から今月の上旬にかけて二週間許り風邪の爲めに學校をも休んて居られたが只今は全治された。十四日の本會の演說會には講演して下さる筈てある。

□矢島副會長は一時病氣が重くなられたので心配されたが、只今は大變よくなられた。一日も早く全治されん事を祈るものてある

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

情死と其の救濟研究（一）

小林隆之助

□我國に於ける情死の流行時期

『七ツの鐘を六ツ聞いて、殘る一ツが冥途の土産』とは、所謂心中の異名である悲哀美の極端極處に達して、華かな而して密のやうな甘い戀に陶醉し湛した夢から醒めた時、其處に餘儀ない周圍の壓迫から延引ならぬ破目に陷り、此の世で添えねばせめて未來なりともと、蓮の臺の夢を描きながら互に抱擁の死によつて永遠に二人の間をば結付けようとする情死――。

其の情死の最も盛んに行はれたのは謂ふ迄もなく德川時代であつた。元祿正德から享保の頃に掛けては、一種の流行として觀るべきものがあるといふ程、それ程盛んなものであつた。從つて情死の最も多く行はれた其の時代の江戸吉原の遊郭では、

『情死未遂者は捕縛ノマヽ、日本橋ニ三日間晒シテ自分ヲ穢多ニ落シ、乞食頭ノ二太夫ニ、ソノ顚末ヲ讀ミ賣リニ歌ヲ作ラセ、江戸市中ヲ賣リ歩カセ、云々』

といつたやうな慘酷な制裁を設けて、情死をして未然に防止しようと努めたけれども、時代の趨勢には如何ともする事が出來ず、折角當路者が苦心して作り上げた其の制裁手段も殆ど效を奏さなかつたといふ。依つて手を代え品を替へして凡ての手段を盡し、情死の防止に頭を惱ましたといふ事である。當時花柳の街に於て旺に唄はれつゝあつた豐後節などは、淫猥の所行や情死の種を播くものがあるといふ見解から、天文四年の十月江戸中に亙つて其の歌を停止した事もあつたし又新内節とか投節とか、すべて情死を促す傾きのあるものは一切停止して了つた事もあつた。けれども矢張り、依然としてその跡が絶えずに多くの情死を出したといふことである。

□情死の起源とも見るべきもの

由來情死といふものは、我國に於ける特有の悲慘事のやうに考へられてゐる、けれども、外國とて全然情死といふものが皆無であるといふ事は謂はれまいと思ふ。たゞ我國の男女間の戀愛關係が、他國のそれと趣きを異にして甚だ無雜作であり、簡單であるが爲めに、其處に現はれる處の行爲も復た從つて極めて露骨であるから、男女が互に情死するのを觀て一樣に我國のみの特殊的な悲慘事と斷案するのは、少しく早計の傾がありはしまいか。今は其問題に觸れる場合ではないから、是を後章に讓るとして、偖て其の我國特有の情死の起源は何事頃であつたか。それに就ては研究家間に區々の議論があつて、現在の處では確乎たる事は判らないけれども、或者は畏い話ではあるが、日本武尊が東夷征伐の折、相摸灘に於て海上の暴風に遇ひ、その波を沈めて無事に目的を達せしめようと神に祈りて犧牲となつた橘姫は一種の情

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

死者であるといふ者さへある。夫は無論合意の情死ではないが、情死といふ問題の上から觀れば、是れも廣い意味の情死と見做すべきものであると稱するのであるが、其他は記錄がないので古代にあつては情死なるものが行はれなかつたと推定してゐる。實際は、若しそれが情死として取扱ふべきものであるとするならば其他にもどれ程それに類したものがあつたに相違ない。が何れにしても我國の情死史なるものゝ、記錄の上では、其の元祖としては卽ち今を去る事百八十年前、延享三年十二月十三日、そろ〳〵歲の瀨に押迫らうとする師走の風の寒い一夜、江戶新吉原江戶町一丁目太左衞門店、太四郞抱ひの遊女であつた尾上の部屋で只ならぬ悲鳴が聞えたので、兼々尾上の許に足繁く通へ詰めた津輕岩松家の浪人原田伊太夫（二十七歲）と對妓の尾上とが合意の情死を企てたに初まつてゐる。其の結果は、女の持つてゐた小刀で男が女の咽喉を突き、返す刄で男が己れの腹を一文字に掻き切つたのであつたが兩人とも傷が淺かつたので未遂に了つたといふ事である。現に新內に唄はれてゐる尾上伊太夫の段は、此の時の心中沙汰を骨子として作られたものであるといふ。

□無理情死と其の起源

右は合意の情死であるが、無理情死では、元祿十六年中壑堂の儒生三七といふものが、同吉原京町茗荷屋の遊女大內藏（二十四歲）を殺害したに初まるといふ。更に跡逐情死の有名なものでは、之れも德川四代將軍家綱公の承應二年二月廿一日、吉原京町三浦屋の總角（あげまき）といふものが、情夫であつた花川戶の戶澤助六が死んだ其の跡を慕つて、三七日の忌日に當る同年三月一日に自害して果てた。歷史家は之れを以て、我が國に於ける情死の元祖と見做すべきものであるとしてゐるが、合意の情死でない以上、普通情死といふ言葉の上から心中と稱すべき性質のものでないといふ方が適切であらうと思ふ。

斯くの如く、我國に於ける情死問題のすべては、大概花柳の巷、就中遊廓內に行はれ來つたものである事が想像される。何故遊廓內に於てのみ左樣に行はれるかといふ事に就ては、左の如き議論を以つて之れを說明する者がある。

「德川時代のやうに封建制度が確立し漸く位地及び職業による階級の差別が樹立されて、家名とか、門閥とか、生れとか、諸々の打ち超え難い溝渠が形作られるに從つて、勢ひ社會階級の間にも又明かな區別が生れ、商人と職人との間が割然と相別れるやうになると、延いて同じ職人の間に於ても其の職々に據つて夫々に狹い天地に位しなくてはならぬ事になつて來る。而して其の多數の狹い天地の間には、夫々に相異つた生活倫理が支配して、所謂「氣質」なるものが作り出される。のみならず其の時代には殊に一種の家族制度が嚴守されてゐて、家名といふ事が極めて重要視せられ、家名斷絕といふ事などは、たゞ考へた丈けでも不埓な事柄とされてゐたのであつた。

處が戀といふものが男女の間にあつて之れが曲者であるから其處に種々の煩悶が附帶されて居るが爲めに偶々葛藤が生ずる。「君と寢ようか三千石取ろか、何の三千石君と寢よ」。といふ苦しい煩悶の打開點を發見する迄の間には、其の間大小深淺種々雜多なる「戀煩ひ」なるものを

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

當事者間で生み出すに至るのであるが、其の戀煩ひが時と人爲時の力とに依つて解決がつけられる場合は何等の悲劇も見ないが、或場合に於てはそれが如何ともする事の出來ない破目に陷り、餘儀なく「情死」に依つて解決される事がある。之を要するに「戀煩ひ」は、社會的差別に對する唯一の反抗として存在し「心中」は其の反抗が遂に爆發に終りを告げたものと見做すべきものである」と。

□情死に對する社會批判

人間が人としての責務を完うするに堪へないと其者自身が心から肯定して、而して死に依つて自他の享益を保護しようとする發心に基く自殺は何よりも眞理であるとなす近代の所謂新しい哲學者の立場から考へれば、心中は慥に悲哀美の極致であると爲すであらう。確かに美しい情緒を加味する眞理に生き得たものと斷定するに躊躇しないであらうと思ふ。復た靈魂不滅論者をして謂はしむれば、肉體は滅びるとも戀そのものは永遠に生くる。卽ち思合つた同志の二人が、美しい死を遂げるといふ觀念に觸れる其の刹那の强みと清淨さとは、二人の靈をして限りなく生かめしむるであらうと讃美する言葉に相違ない。けれども此の同情ある言葉は、大きな社會の上から觀れば殆ど取るに足らぬ一つの屁理屈として省みられないのである。

一般世人は全く右の說とは反對の批評を爲し「心中するなんといふ事は愚の又甚しい」と一蹴して了ふのが常であつて、齒牙にさへ掛けぬ。添遂げられないからいつそ死んで了つた方がなど、脆弱な囈言を用ゐ、周圍の事情をも辨へずして心中するなどは、人間として卑怯な行であり意氣地のない事を證據立てるものだとしてゐる。

□情死者を救ふ可き道なきか

けれども假令その人達が取るに足らぬ卑怯者で意氣地のない人間にせよ何にせよ、將來ある靑年子女をして貴き生命を失はしむるといふ事は眞に憂慮すべき事であつて、小にしては其の家庭の繁榮を毀傷し、大にしては國家社會の損害たるは謂ふまでもない事であるから、若し此の悲慘なる落伍者（戀愛の）をして救濟し其の涙を拭ふて遣る事が出來るならば其當事者の幸福許りではなく、延ては國家社會の上に及ぼす影響は寔に喜ぶべきものがあるに相違ない。なほもう一歩進んで是等の事態を生む原因を探究し、情死をして未然に防止する事が能るならばそれ丈け人類の上に齎す處の福は蓋し思ひ中ばに過ぎるものがあらうと思ふ。

□最近五ケ年間の自殺者別

情死問題に入る前、情死が如何なる程度までに行はれつゝあるかといふ事を數字によりて知る必要があらうと思ふので順次近年我國に於ける自殺者の統計を掲げて見たい。

「殖えるのは稅と自殺と華族樣」とは川柳子の警句であるが、今最近五ケ年間全國に於ける內地のみの自然死と自殺者との割合を觀るに

年別	自然死	自殺	割合
大正三年	一、一〇一、八二三	一〇、九〇二	九、九
四年	一、〇九三、六六九	一〇、一三三	九、三
五年	一、一八七、八三三	九、五五九	八、一
六年	一、一九九、六六九	九、三四四	七、七
七年	一、四九五、一六三	一〇、一〇三	六、八

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

即ち五ヶ年間に於ける自然死に對する自殺者數の一ヶ年平均割合は、自然死千人に對し自殺八人三分六厘に當る。その中所謂情死者なるものが何程あるかといふに、遺憾ながら全國のそれは之れを調査し得られないので茲には最近五ヶ年間に於ける警視廳管内即ち東京府の自殺者別を擧ぐれば

死別年別	大正四年 既遂	大正四年 未遂	大正五年 既遂	大正五年 未遂	大正六年 既遂	大正六年 未遂	大正七年 既遂	大正七年 未遂	大正八年 既遂	大正八年 未遂	大正九年 既遂	大正九年 未遂
精神錯亂	一八二	六三	一二八	三五	九八	二七	九三	四七	一三	四八	八五	三一
病苦	一七七	四一	一三八	三九	一二六	四一	一三九	二六	一三七	六〇	一八四	四七
活計困難又ハ薄命	三九	四八	三七	二五	三二	一四	三二	三	四〇	三三	三三	三一
痴情又ハ嫉妬	二〇	一五	二七	二〇	八	一三	七	八	九	一三	一六	一五
親族ノ不和	二一	二六	二二	二五	六	二五	一六	二六	一六	一四	一五	一九
罪ノ發見ヲ懼レテ	六	八	二	一〇	一三	九	四	一九	八	二四	八	八
將來ヲ苦ニシテ	二一	二五	二五	一〇	二七	二〇	八	一三	一〇	一九	二七	三一
商業ノ損失又ハ負債	二	五	一	七	一七	一	四	七	五	二	一〇	一
淫逸放蕩	一四	四〇	一七	一〇	八	二	二	一〇	二	三	七	一三
厭世	二一	八〇	二四	九四	一三二	八一	一六七	七六	一三七	三八	一〇四	三八
老衰不自由	一三	―	一三	一三	二〇	一五	七	一三	九	二	九〇	五
其他	八〇	七四	四八	七九	六〇	五四	一〇一	七五	六九	八八	九五	三〇
不詳	一六六	―	一五一		一五八	―	二四七	―	一九一	―	七九	―
總計	九五一	四三一	八四二	三八六	六九四	三一九	八三四	三三〇	七六三	三四一	七四二	二八九

右は極めて大雜駁な自殺原因別であつて、隨つて情死の自殺者を擧てないから痴情又は嫉妬、及び淫逸放蕩、厭世等の中に、或數が含まれて居るには相違なからうと思はれるが、統計的に研究する上に於ては、是非とも最う少し的確なるものを要する。依つて今茲に大正九年中に於ける同じく東京府の自殺者原因別を掲ぐれば

種別	既遂 男	既遂 女	既遂 計	未遂 男	未遂 女	未遂 計
精神錯亂ノ結果	四六	三七	八三	一七	一四	三一
病ヲ苦ニシテ	一〇二	八二	一八四	一七	三〇	四七
活計困難ノタメ	二〇	一二	三二	一四	七	二一
痴情又ハ嫉妬	六	一〇	一六	八	一	九
互ニ情死ヲ圖リテ	九	九	一八	三	三	六
前非ヲ悔ユ又ハ懺悔	一二	四	一六	八	一	九
親族の不和ニヨリ	二	一三	一五	五	一四	一九
罪ノ發覺ヲ懼レテ	七	一	八	七	一	八
將來ヲ苦ニシテ	一五	一二	二七	九	三	一二
商業等ノ失敗又ハ負債ニヨリ	七	三	一〇	―	一	一
雇主又ハ父兄ノ譴責ニヨリテ	三	三	六	五	六	一一
親又ハ夫妻子等ノ死去又ハ病氣ヲ嘆キ	八	六	一四	三	二	五
離縁ヲ悲シンデ	一	一三	一四	一	六	七
私通姙娠ヲ憂ヘテ	―	五	五	―	五	五
失戀ニヨリ	―	―	―	―	一	一
親又ハ夫妻ノ行情ヲ歎ヘテ	―	一	一	一	一	一
淫逸放蕩ノ末	四	一〇	一四	五	四	九
老養後ノ不自由ヲ歎キテ	―	五	五	―	五	五
厭世ニヨリ	一三	一	一四	二	一一	一三
身體ノ不具ヲ歎キテ	一〇	四	一四	三	二	五
結婚ヲ忌ミテ	六五	四八	一一三	三	二六	二九
情愛ニヨリ	一	三	四	二	―	二
其他	三	四	七	二	一	三
不詳	九二	三二	一二四	―	―	―
總計	四二八	三一四	七四二	一三八	一五一	二八九

右の内情死を圖りては既遂九組、未遂三組であつて人員合計廿四人である。是れを他の原因に依る自殺者數と對比すれば七百三十七人の廿四人、即ち百分の三人六分一厘強に當る割合となる。けれども實は當事者の情死の場合は其親族係類等が世を憚つて、情死に非ずとなすもの

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

いてはないから、他の原因に基くものゝ中痴情又は嫉妬の既遂十六人、未遂九人結婚を忌みての既遂百十三人や、未遂三十八人其他厭世により又は精神錯亂、鬱憂に依りて等に入れられて居る内の幾分かは、詳細に檢査したなら必ず情死の部に入るべきものがあるに相違ないが、斯くの如く情死者の數といふものは今日の處未だ的確な統計を求むる事が出來ない。若し大體の推定を以つてせば全自殺者中の百分の五と見る事が妥當と思ふ。

何ものでも統計的に研究するには、その擧ぐる數字の全體を通じて、漏す處なく精密な比較對照的計數が最も大切であつて、絶對に揣摩憶測を赦さぬものである事は論を俟たない處である。從つて情死の統計的研究上に就ても、其全部を詳細に檢査し、僅なりとも考察等の如き架空案を採つてはならないのであるが、如何せん現在の統計上では前表以外に求むることが能ないので、最近六ケ年間東京市内を中心とし、同府下並に隣接各縣に於て行はれた情死百組に就き、實地見聞或は最も信據すべき情報から得たものに依つて研究して見ようと思ふのである。

徹底的藝娼妓酌婦の自由廢業を促す

布施辰治

六十三名の慘ましい犧牲者を出した大島製鋼所の勞働爭議解決の爲め、會社側重役と亀戸警察署樓上で、三四會見した間に署長木佐貫氏から、亀戸は都下最大の魔窟地であつて、警察力の大部分は、其の魔窟取締りに割かるゝと云ふ話が出て、魔窟屋や醜業婦の徹底的取締に關する私の所見を求められた、私は例のプロレタリア社が發行した、藝娼妓自由廢業案内の事を話したら、是非讀んで見たいから一本を送つて呉れと云ふ事だつたので、魔窟屋や醜業婦の徹底的取締りは、其の根絶を期する徹底的な廢娼運動の實行に俟たなければ爲りえせん、そして、所謂魔窟屋や醜業婦の根絶を期する徹底策は先づ第一に今日の魔窟屋の營業が成り立たない樣にする事が急務だと思ふ。夫れには藝娼妓酌婦の自由廢業をドシ〳〵奬勵して行るに限ります。

然るに、今日の警察は、藝娼妓酌婦の自由廢業に干渉して、陰然魔窟屋の營業を保護する爲に、弱い醜業婦を壓へ付けて居るから、自然警察力の過半を割いて弱い慘しめな醜業婦ばかりを、如何に嚴重に取締つて見た處で、取締の目的を達する事が出來ないのではあるまいか。

私は、魔窟屋や醜業婦の徹底的取締りは、其の根絶を期する徹底的廢娼運動の實行に俟たなければならないと云ふ意味に於て、魔窟屋の營業の成り立たない樣に、藝娼妓酌婦の自由廢業をドシ〳〵許すに限ると思ひます。と云ふ意味の手紙を添へて自由廢業案内壹冊を送付しました、木佐貫亀戸署長は、私の意見通り自由廢業を奬勵して呉れるかどうかは疑問ですが、尠くも自由廢業の爲に警察署へ飛び込んで行つたもの丈けは、必ず之を許して呉れるに違ひないと信じます。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

月並ながら月日の立つのは速いもので本年も餘す所僅かに旬日の中に迫まつて來た。舊年を送り新年を迎えんとするものに顧りみて努力の足らざりし事を遺憾に思ふのである。

夫につけても思い出すは今各所に「忘年會」といふ會合が催さるが其背景には何れも酒と賣笑婦が活躍しつゝ居るのを見ていつも苦々しく思ひ、もとつ純潔な會合にして欲しいと思ふのである。

年末は一年中の總勘定の時である決算期である金錢上のみてはない精神的、內心にも顧みて反省考慮する時である斯樣な場合には是非賣笑婦を付けなくてはならない。

せめて此雜誌を讀まるゝ讀者諸彥だけでも宜敷い賣笑婦のない忘年會を心からやり度いと思ふ。年を忘れる所か只さへ迫つた歲末に酒のために、遊蕩の果を苦しんで送る人がある。今日の宴會なるものは大抵藝者を招ぶのである、之が隨分馬鹿な話で會費を假りに拾圓と見ても半分以上之等の醜業婦のために費されている。

そして會社でも商會でも官廳でも上から强制的にかうした會合に列席せしむる惡弊があるそれで勘定は平等と來るからやりきれない。まだ夫だけては足りない二次會の三次會のといふては飛んでもない所へ入り込んでは連日欠勤するやうな者も出るといふのが今日の有樣である。今月から來月へかけて賣笑婦殊に藝者の飛躍するのを見るのである。

年中の事を顧みて總勘定をなし新しい活動の目論見をなすべく舊年を忘れんとするにはせめて醜業婦を近けない會合の出來るやうにならなくてならない。「下地はすきなり御意は好し」といふやうな連中の多い會合の多いのはいつも苦々しく考へている。

中國地方の公娼私娼

木藤冷劍

本年は政界では未成年者の禁酒法案が通過になり婦人の演說會の出來るやうになつた古事を初め藝妓の廢業問題て吾等の理想にだん／＼近づいて來た。

各地に藝妓の自由廢業が頻出し夫と同時に娼妓の自由廢業續出し各地に廢業の新聞記事を見る事を得たのである。

之は彼女達には天來の福音であると同所に一方抱主樓主連に對しては一大恐慌てあつた、斯くして處々に起るのは賣笑婦の待遇改善といふ事である、彼等のために自由を與え新時代の潮流に幾分でも隨つて改善せんとしつゝある風潮に立到つた事は喜ぶべき事である兵庫縣當局の如きは同縣の公娼に對し一改革を斷行すべく計畫をなし諸同案を出したが未だ決定してはいない近來稀なる樓主の大脅威てあつた、新年號までには詳細決定する事と思ふ。

賣笑婦の待遇改善に就ては何れ稿を改め各地の情況を投ずる事とし本年掉尾の本號には中國地方の賣笑情態を述る事としよう先づ廣島縣から見ると、全縣を通じて公娼の所在か十八ヶ所ある外に料理店千〇八十八戶飲食店四千二百九十九戶

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

酌婦二千百三十四戸である藝妓の調査を見ると千百卅九名外に雛妓九十三名藝娼妓兼業六十三名ある娼妓數は二千二百六十六名であり前年は二千二百二十三名てあつた、貸座敷は前年より十六戸増加して四百卅六戸あつた。

左に各所在地を調査したのを見ると

	貸座敷	登錄	削除	現在	登樓人員	費消金額
廣島市東廓	四〇	一三五	一〇三	二九一	六六、七六六	二八九、九七三円
廣島市西廓	三五	一九三	二八	四三八	一〇七、一八三	四八〇、七七六
呉市朝日町	四七	二八五	一八四	七〇三	一五七、九四七	六四九、〇九七
安藝郡吉浦町	一三	四三	四八	九一	二一、四七四	一〇四、九七三
同　音戸町	九	三九	四三	三九	一一〇、二三五	四一、九七三
佐伯郡嚴島町	四	七	六	一九	三八、八三九	一五、四四七
加茂郡竹原町	七	一八	一五	一九	二、七〇〇	八、四三三
豐多郡忠海町	三	七	三	八	一、一一四	三三、三九三
同　瀬戸田町	二	二	—	三	一、〇三九	二、六四九
同　木ノ江町	二八	三六	四一	九一	八、八二八	四六、一四四
同　東野村	一八	三三	二八	五四	八、五九六	四三、六七四
尾道市久保町	九五	一三七	七八	一八九	四五、六八二	三九、八三九
御調郡三庄村	六	五一	一〇五	四八	二八、二八八	一〇四、九二〇
同　糸崎町	一四	二〇	四	二七	一、〇五三	四、六六九
沼隈郡鞆町	一一	三三	一九	三三	六、〇二二	二〇、三九一
福山市新町	五九	七九	八〇	一一五	一四、七一四	一六二、七六六
芦品郡府内町	二一	三八	五三	四一	一四、三八七	四三、六二一
豐田郡手洗町	七	二一	七一	五三	八、七七八	三八、五九二
計	四三六	一一二四	一一〇一	一三六六	五二〇、四一五	一二九五、四三四

廣島縣の情況は前記の如くである。同縣の廣島遊廓に於ては娼妓に公休日を與えたる所一日に五名も逃走したとの事を新聞紙に報じてある外、呉市の遊廓に於ては一度に六名も自由廢業申出があつたりしてかなり同縣の問題となつて居る、糸崎遊廓には十四戸の娼樓と七戸の藝妓置屋がある、同組合には保護規約といふのがある同町には、近來漸次公娼が減少し私娼の跋扈甚しきため同地警察署長は當業者と種々折衝の結果一種の組合を設けて一種の講を作り其には各自の分に應じて加入せしむる事とし約一萬貳千圓の金を得たるより之を以て拾四名の公娼を抱え各業者に抽籤で分ち娼妓を割合てられた各樓主は揚代金の多少に拘らず各月一定の金額を組合に返還し組合は其金を以て再度公娼を抱え他の樓主に分つといふ組織を作つたが將來は同組合を株式會社になさんとする考であるといふ、成立の上は珍無類な株式會社になるてあらう。

糸崎遊廓 藝娼妓保護 保護規約

第一條　本規約は糸崎町に於ける貸座敷並に藝妓置屋營業者に於て藝娼妓に對し毎月賞與金を與え滿期廢業又は住換の時は慰藉金を交附する等待遇の改善を圖るものとす

第二條　貸座敷並に置屋は左記要式の簿册を備え毎月收入其他の事項を記載す

第三條　賞與金並に慰藉金は左記各節により之を交付し當月分を取纏め翌月迄に各取締人に申出るものとす。但し逃走者又は不在の廢業者に對しては交付の限りにあらす

一、賞與金は毎月揚代金七十圓以上百圓以下は百分の三百圓以上は二十圓を増す毎に一圓を加ふ

二、慰藉金は年期內總揚高の百分の二以上とす

第四條　業務に起因する疾病にして休業一ヶ月三日以內は之れを皆勤と見做す、娼妓にして稼業中姙娠したる時は分娩並に其后要したる負擔は抱主娼妓折半負擔とす

第五條　藝娼妓にして毎月二十五日以上の皆勤者には一日間の休暇を與ふ毎年一回以上抱主負擔の許に一齊に休業し慰安會を與ふ

第六條　藝娼妓の違約金は一ヶ年未滿二割一ヶ年以上一割契約年限の半ばを超るときは之を免除す前借金は規定の利子の範圍を超ゆる事を得ず藝娼妓にして三十圓以上別借をなさんとする時は返還方法を記し警察官署長の承認を得るものとす

第七條　藝娼妓の待遇改善は左の各項に依るべし

一、三度の食事は努めて樓主家族と同一にする事

二、部屋道具其他稼業上必要なる品は一切樓主の負擔とす但し藝妓は最和の契約による

三、自辨の花は附けざる事

四、花に出ずる時後の揚代金は其半額を本人に與ふる事

五、娼妓入院中の負擔は樓主の負擔とする事

六、藝娼妓の德義觀念並に衛生思想修養のため抱主負擔にて名士を聘し講演會を開き尙教師を雇い裁縫作法を敎ゆる事

第八條　藝娼妓取締人は毎月十日迄に收支計算簿賞與金並に慰藉金の交付簿及貯金通帳を警察署

第九條

又は米崎巡査部長派出所に提出し前月分の検査を受くるものとす

第十條　本規約を變更せんとする時は同業者の決議を經て警察署長の承諾を得るものとす

此外廣島縣内に於て吳遊廓にては娼妓に對する賞與金を揚代金總額の五分以上一割迄累進法により給與する事部屋道具衣裳化粧品等も全部樓主に於て負擔する事毎月一回公休日を設け或は慰安會を設くる事を定めてあり府中町にても毎月一回の公休日を定め當日には自由に娼妓の外出を許す事、抱妓に對しては毎月の揚代金の八分を與え内半額は貯金せしむる事五圓以上借金する場合は警察の許可を得なければ貸さぬ事等の改革がある其他調査すればいろ〳〵な施設があるが本縣は之で切り上げ次は山口縣の調査に及ぶのである。

山口縣下の公娼

山口縣の公娼の所在地は二十一ヶ所ある貸座敷數二百六十六戸娼妓千百十一名藝妓千四百卅四名あり、酌婦が八百六十名ある之が調査の類別を見ると左の如くである。

郡	所在地	貸座敷軒數	娼妓數	登錄人員	削除人員	登樓人員	費消金員	藝妓數	酌婦數	料理屋數	飲食店數
大島郡	久賀町	―	―	―	〇	〇	〇	一七	九	二四	二九
	安下庄町	―	―	―	〇	〇	〇	七			
	小松町	―	―	―	〇	〇	〇	〇			
玖珂郡	岩國町	二	一五	一三	一〇	三、六四八	一九、六六七、〇五〇	三六	一〇二	三〇三	三〇七
	麻里布村	―	―	―	〇	〇	〇	一			
	柳井町	一六	六九	三二	二九	一六、三三二	六四、三二六、四〇〇	二九			
熊毛郡	室津村	三	二〇	八	一九	二、九七八	三六、一五一、五四〇	二四	三八	一九	一〇〇
	上關村	五	五	四	五	一、〇二九	五、二八四、一〇〇	五			
	曾根村	一	四	二	一	八六三	二、二一〇、一五〇	五			
	室積町	三	六	四	二	一、八二四	五、三〇〇、九三〇	四			
都濃郡	德山町	一九	一二五	四五	三六	二八、七〇四	一二七、四六七、四六〇	六〇	三六	一三八	三三四
	下松町	廿	三七	一八	一〇	三五、七七五	一八、八三三、五〇〇	四九			
	防府町	一五	六四	四七	四八	三五、七五九	六七、四三五、三七八	四九	四一	八二	三三四
吉備郡	山口町	一九	一〇〇	三四	三三	三四、〇三〇	一七〇、四〇八、一五〇	九九	九八	一四三	一八
	小郡町	三	三四	一七	一九	七、四四二	一三〇、五八四、七九〇	一三			
	船木町	四	一〇	八	八	一、八六八	五、五〇八、一〇〇	一八			
厚狹郡	厚狹町	―	―	―	〇	〇	〇	四五	二五	一三	三八
	小野田町	五	三三	五	二	四、九三七	一八、三六五、七五〇	二			
	宇部村	一七	七五	四五	六九	四三、六七四	八一、七三〇、〇〇〇	四七			
豊浦郡	小月村	三	八	四	三	一、三三三	四、〇二八、一三〇	一五	一七	二〇	三二
	清末村	二	五	二	一	一、一三〇	二、九六四、四三〇	三			
	西市村	―	―	〇	〇	〇	〇	一三			
	神田下村	五	五	二	二	二、〇四一	一三一、七〇四、〇〇〇	一六			
	小串村	―	―	〇	〇	〇	〇	七			
	彦島村	二	四	一	〇	九六九	五、八六三、一〇〇	一六			
〇〇〇	伊佐村	―	―	〇	〇	〇	〇	四	三	五	二八
〇〇〇	仙崎町	四	二六	一九	一〇	九、三三三	四一、二五八、七八〇	一八	六	六七	三三
〇〇〇	萩町	九	八三	一七	三	一八、五八九	六三、九〇一、三〇〇	五八	〇	〇	〇
	須佐村	―	―	〇	〇	〇	〇	四	八八	八〇	三六九

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

長崎村	○	○	○	○	○		八	○	○	○
下関市	一五	四二	一三	一〇	九五、八七八	二六、五五、三三	七三	一四八	一〇一	六五
計	一六〇	一、一二	四六七	四六六	一〇五、六五五	一〇、二六、四〇一〇	一、四四	八〇〇	一、三九	三、〇二九

以上の如くである右は大正九年現在の調査にかゝるものであるが今同県の結婚離婚の調査に成るものを見ると都濃郡に於ては結婚、一千六十五件内入夫四十一件婿養子五十六件の内離婚百四十三件出生三千五百四十三死産百六十四私生児百三十八件であつた美禰郡に於ては結婚五百二十六件の内普通四七〇入夫二十七件養子二十九件離婚は五十二件であつた。出生は千二百三十三件の内庶子四十七件て私生児七十件あつた。

大島郡に於ては婚姻八百五十件に対し離婚百二十二件でありた、出生二千三百五十件内私生児六十件庶子八十二件であつた。

更らに廣島山口両縣の都市の賣笑婦周旋情態を見ると次の如くである。

市町、村、	藝娼妓求人	藝娼妓求職	藝娼妓就職	周旋業数
廣島市	三、〇二三	一四八八	一二九五	六九
呉市	六六六	五五七	五三二	六〇
福山市	一九九	一五〇	一七二	二四
尾道市	二五〇	一五六	一六三	一七
計	四、一四七	二、三五一	二、〇六〇	一〇六
下関市	一五九	八四五	八六五	五四
宇部市	一三	一五五	八四	二
計	一七二	一、〇〇〇	九四九	五六

藝娼妓周旋情態は前記の如き有様て山口縣に於ては、藝娼妓の求人數百七十二件に對し求職者一千人に對し五十六戸の周旋業者にして九百四十九件就職してゐる之が近頃流行の無料公設紹介所であつたら破天荒の好成績であるが悲しい哉醜業の好成績はあまり誉にもならぬ縣内ては僅かな申込で他縣えドシ／＼と賣られて行くのである、いつも斯の世界計りは申込さへすれば容貌があまり良くなても片輪てさへなくばドシ／＼話が運ぶといふ元手入らずの商賣であるから全般を通じて此娼妓や藝妓の紹介計りはいつも成績がよいのてある。

廣島縣でも二千三百五十一の求職に對し二千六十人の就職があるけれ共茲では求人がべら棒に多くて半分付程、外人の要求に應じられては居ないのてある。

徴兵檢査の結果に就ては廣島縣は廣島聯隊區司令部の調査によれば廣島市三五名の花柳病患者あり呉市に於ては十三名安藝郡十八名加茂郡廿丑名豊田郡八名であつた、山口縣のは詳しい詳表が手許にないので本號には掲載しないが昨年十一月及本年四月號に掲載したから略する事にした。（次號につゞく）

編輯室より

本年も終りとなりました。お互ひに來る年には一大勇氣を以つて廓清の爲めに正義の爲めに世の卑陋の徒と戰ひませう。本誌もよりよく實質的なものにして精神的に實際的に價値あるものと致したいと思うて居ります。會員諸君の御後援を望みます。

大正十一年十二月十日印刷（毎月一回十日發行）
大正十一年十二月十日發行（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　東京市小石川區大塚仲町四十一番地　伊藤秀吉
印刷人　本郷區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會本部　電話神田四〇二〇番　振替東京二七〇七二番

●御注文の際は必ず雜誌「廓清」による旨を申添を乞ふ●

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分　一圓五十錢
二週分　二圓八十錢
三週分　四圓

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙散

煙草きらいになる藥

金壹圓　金貳圓　金參圓

本舗　大阪靭南通二丁目　森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

產婦人科。小兒科

女醫　鷲山改め　吉岡彌生

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話九段二三三一番

建築設計

總て建築は設計せずに成すは大層な損てす、なれど其設計料が少しの金ては出來ぬために知りつゝも無設計てなさぬ方が隨分多いようてす、依て當局ては之等を思ひ建築成さんとする方々のために、遠近を問はず實費を以て御依頼に應じますから、無御遠慮御問合せ下さい

東京市神田區淡路町　中央建築局

電話神田二〇〇・(長)四〇〇

御歳暮の御贈答品

は三越の品に限ります、御贈答品はどなた方にも喜ばれる便利な品が一番良いのであります、が三越にはその種類の品物が澤山取揃へて御座います。又何人も便利で重寶がられ本店支店に共通で文化的な御贈答品は

三越の商品券です

◆歳暮格安反物賣出し（十二月一日より）
◆羽子板陳列（同）
◆仕立衣裳座蒲團陳列（同）
◆新年用盆栽陳列（同六日より）
◆三越歳の市（同十五日より）

東京市 **三越呉服店** 駿河町

……十二月の定休日は十一日ばかり……
……廿五日は御便利の爲め休みません……

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任）醫學士　岡本[illegible]雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長

診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段　一六二番
　　　　　一六三番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番

相模國茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎日午後　但祭日及日曜の他

◎募集──看護婦志願者及雑事婦

明治四十四年九月十一日創刊
大正七年七月一日第三種郵便物認可
（大正十一年十二月十日印刷納本）
（大正十一年十二月十日發行）（毎月一回十日發行）

廓　清　復刻版　全33冊

1980年6月30日　一揃定価30万円

発行者　北　村　正　光

発行所　株式会社　龍　渓　書　舎

〒101　東京都千代田区神田小川町3-28-7
電話　03(233)0441(代)・振替東京3-76123

印刷・製本　日本プリントセンター

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES

This book is due on the date indicated below, or at the expiration of a definite period after the date of borrowing, as provided by the library rules or by special arrangement with the Librarian in charge.

DATE BORROWED	DATE DUE	DATE BORROWED	DATE DUE
FEB 15 1995			
FEB 08 1995			

C28

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES
0057465967

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA LIBRARIES OFFSITE
CU05775701

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY